

奈良中心市街地公共交通総合連携計画

令和2年3月

奈良中心市街地公共交通活性化協議会

目次

1. 計画の概要	1
1.1 計画の目的	1
1.2 計画の位置づけ	1
1.3 計画対象区域	2
1.4 計画対象期間	2
2. 前回計画策定時からの交通状況等の変化	3
2.1 前回計画の計画目標達成状況	3
2.1.1 計画目標 1 の達成状況	3
2.1.2 計画目標 2 の達成状況	5
2.1.3 計画目標 3 の達成状況	6
2.2 交通状況の変化	7
2.2.1 交通量	7
2.2.2 渋滞長	8
2.2.3 旅行速度	9
2.3 観光形態の変化	12
2.3.1 インバウンドをはじめとする観光客の増加	12
2.3.2 情報取得環境の変化	12
2.4 自動車通勤に関する取組	13
2.4.1 通勤者数規模別のマイカー通勤状況	13
2.4.2 業種別のマイカー通勤状況	14
2.5 奈良中心市街地の現状と課題	15
3. 奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた	16
3.1 基本理念	16
3.2 計画目標	16
【参考】公共交通と P&R の分担率	18
4. 実施施策	19
4.1 施策体系	19

4.2 事業スケジュール	20
4.3 施策概要	21
4.3.1 施策 1) 観光拠点間の移動環境の充実	21
4.3.2 施策 2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	26
4.3.3 施策 3) 渋滞対策に資する効果的な広報の実施.....	31
4.3.4 施策 4) 自動車の需要調整	36
4.3.5 施策 5) 観光バスの需要調整.....	40
4.3.6 施策 6) モビリティ・マネジメントの実施	42
5. 推進体制	44
5.1 推進体系	44
5.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施	45
【参考資料 1】検討の経緯	47

1. 計画の概要

1.1 計画の目的

奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在する地域です。2010年の「平城遷都1300年祭」の際には、多くの観光客が訪れ、現在の入込客数は1700万人に達しています。その一方、観光を目的とした自動車交通の増加によって、奈良中心市街地における交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻であり、環境負荷の小さい交通体系の構築が求められています。

本計画は、これらの問題に対応するため、奈良中心市街地内での移動について、地域住民および公共交通事業者などの関係者が一体となり、総合的な検討を進めることにより、快適な公共交通環境を整え、公共交通を中心とした交通システムを構築し、地域の快適性向上と活性化を図るとともに、観光客の満足度向上と世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目指すものです。

1.2 計画の位置づけ

平成23年3月に「奈良中心市街地公共交通総合連携計画（以降、前回計画）」を策定し、観光客および市民双方にとって移動しやすい公共交通の利用環境向上に向けて、多様な事業を実施してきました。

令和元年度には、事業実施とあわせて、「奈良中心市街地公共交通活性化協議会」の中で平成29年度に続き3回目となる計画の効果検証を行いました。前回計画の期間終了に伴い、以下に示す内容を踏まえ、新たな連携計画を策定します。

①連携計画主要プロジェクトの実施

- ・計画に位置づけられた主要プロジェクトは概ね実施され、各目標およびモニタリング指標の達成状況を確認した上で、公共交通を取巻く情勢の変化を踏まえ、新たな課題に取組む必要があります。

②交通渋滞および環境悪化対策のさらなる推進

- ・世界遺産などの奈良の文化財や自然環境の保護に向けて、奈良中心市街地における観光交通および日常交通の状況を踏まえ、さらなる公共交通を中心とした交通システムを構築していく必要があります。
- ・奈良公園周辺の乗用車流入抑制方法の確立など、観光シーズンの渋滞緩和を推進する必要があります。

③持続可能な公共交通体系の構築

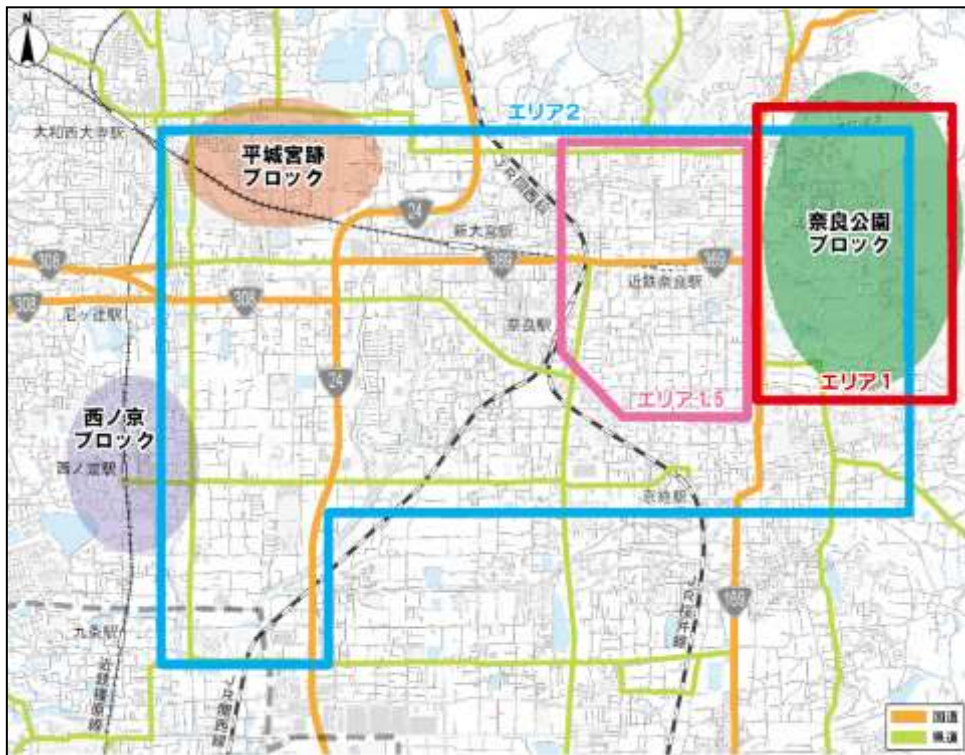
- ・地域ぐるみの利用促進、公共交通サービスの情報提供などに要する経費などについて、持続可能な公共交通体系の構築に向け、地域関係者が協働・連携しながら確保・維持に向けて取組を進める必要があります。

④上位・関連計画との整合性

- ・奈良市第4次総合計画後期計画（平成28年2月）では、奈良公園周辺の渋滞緩和に向けて、公共交通機関の利用促進と、パーク&ライド事業を通じた公共交通や自転車利用者の一層の増加に努める必要性が示されています。移動の快適性、交通の質の向上、他の交通手段への乗換えを容易にするなどの施策によって、安全性を確保するとともに、交通の質を向上させることが重要です。

1.3 計画対象区域

本計画における対象区域は、奈良公園・平城宮跡・西ノ京などを含む奈良中心市街地（エリア1、エリア1.5、エリア2）とします。



〔エリア1：奈良公園周辺〕

- ・交通の流入を抑制し、エリア内の駐車場の需要調整やエリア内での観光客の回遊性を高めるなどの施策を実施すべきエリア。

〔エリア1.5：平城宮跡などの拠点整備状況を踏まえ、優先的に施策を実施する地域〕

- ・当面の対策エリアとして、交通の流入を特に少なくするため、優先的に施策を実施すべきエリア。

〔エリア2：西ノ京～平城宮跡～奈良公園を含んだ地域〕

- ・交通の流入をできるだけ少なくするため、エリア周辺でのパーク&ライド駐車場（バスライド、サイクルライドなど）の設置や周遊バスなど、移動の円滑性を確保するなどの施策を実施すべきエリア。

図 1-1 計画対象区域

1.4 計画対象期間

本計画の対象期間は、令和2年度から令和4年度までの3ヶ年とします。

2. 前回計画策定時からの交通状況等の変化

2.1 前回計画の計画目標達成状況

○ 前回計画では、3つの計画目標を設定

前回計画（H29.3策定）では、奈良中心市街地の課題を解決するための目標として、過度に自動車に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通体系の確立を目指し、計画目標を設定しました。また、各目標の達成状況を確認するため、以下の目標値を設定しました。

種類	計画目標	目標値
観光 交通	(1) 渋滞の緩和	令和元年度の大宮通りの平均旅行速度： 20 (km/h) 以上
	(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	平成30年度の観光入込客数： 1,500 (万人/年) 以上
日常 交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	令和元年度のマイカー通勤者 40%未満の事業所割合： 90 (%) 以上

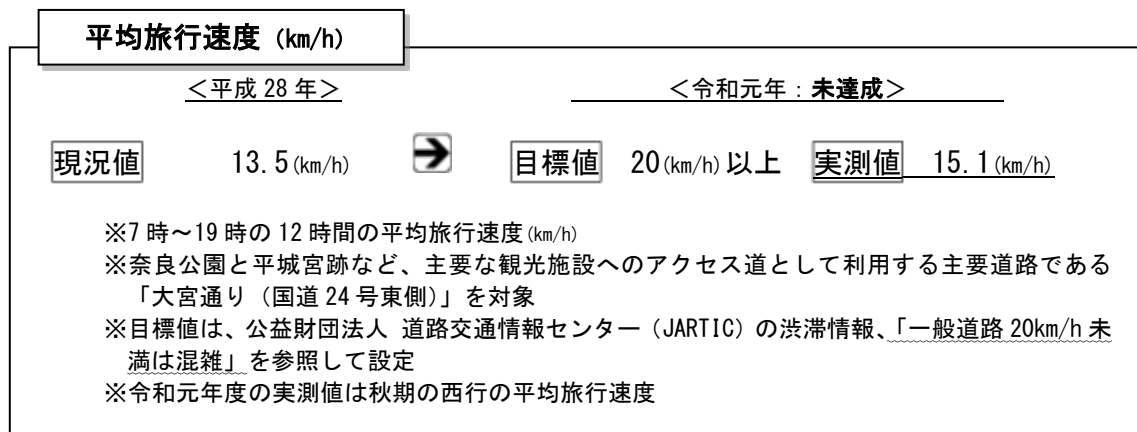
2.1.1 計画目標1の達成状況

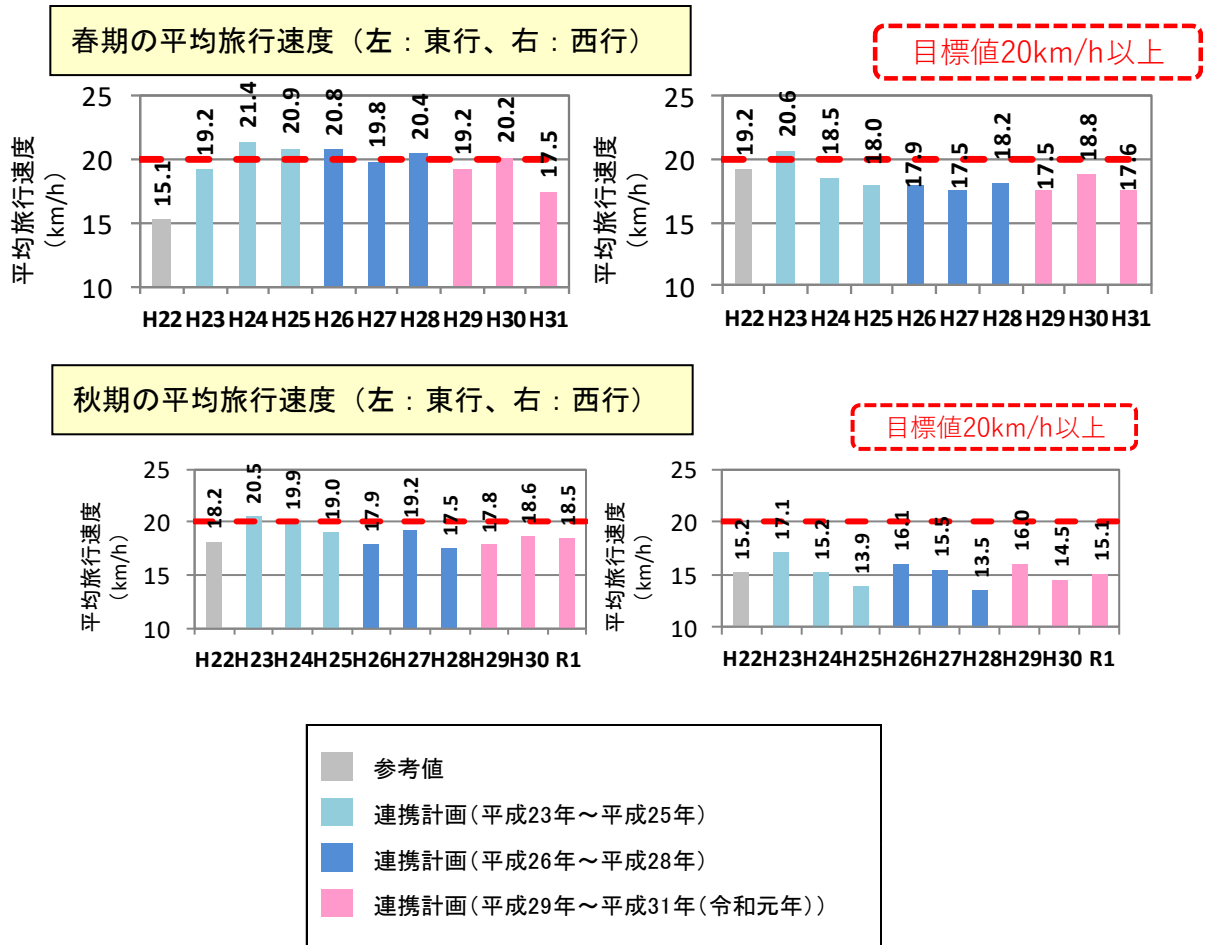
○ 「渋滞の緩和」の計画目標は、未達成

(1) 渋滞の緩和：奈良中心市街地における旅行速度の向上

奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現するため、公共交通へのモーダルシフトを推進し、主要道路における旅行速度を向上させることを目標としました。

主要道路である「大宮通り」は、令和元年春期に東行の平均旅行速度が17.5km/hで、西行が17.6 km/h、同年秋期は東行が18.5km/h、西行が15.1km/hであり、目標は未達成となりました。





出典：各年 4月・5月、10月・11月（休日）の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）
 ※今計画より ETC2.0 データを活用

図 2-1 大宮通りにおける休日の平均旅行速度



図 2-2 計画目標における平均旅行速度の対象区間

2.1.2 計画目標2の達成状況

○「奈良公園・中心市街地の移動環境の向上」の計画目標は、達成

(2) 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上：奈良市の観光入込客数

奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通による周遊観光を促進させることによって、奈良市の観光入込客数を年間1,500万人に増加させることを目標としました。

観光入込客数は平成23年の東日本大震災以降、順調に回復しており、平成30年は1,703万人で目標を達成しています。

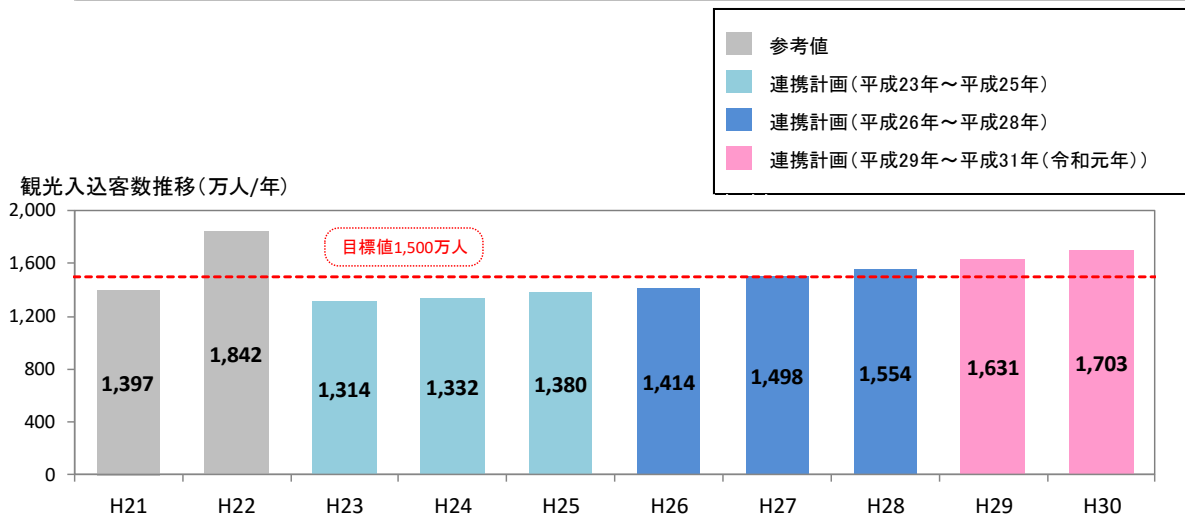
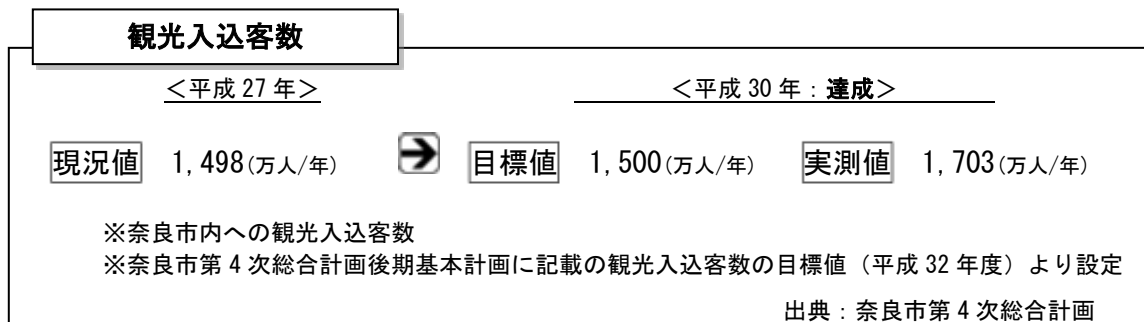


図 2-3 奈良市の観光入込客数

2.1.3 計画目標3の達成状況

○「マイカー通勤から他の通勤手段への転換」の計画目標は、未達成

(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換：マイカー通勤者40%未満の事業所割合

前回計画では、奈良市内の事業所において、従業員などへの公共交通を中心とした他の交通手段に対する意識を向上させることによって、日常の交通手段について、公共交通等通勤者が過半数を越える事業所を増加させることを目標としました。

令和元年の取組み割合は77%となり、目標は未達成です。

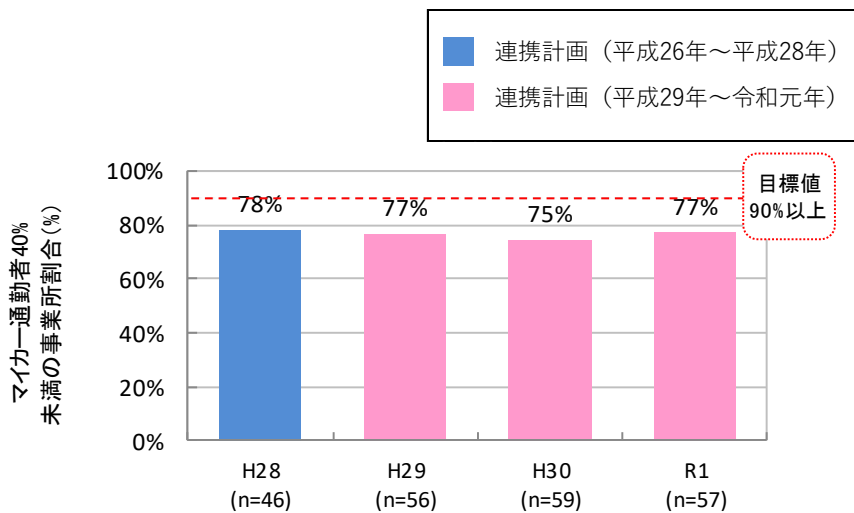
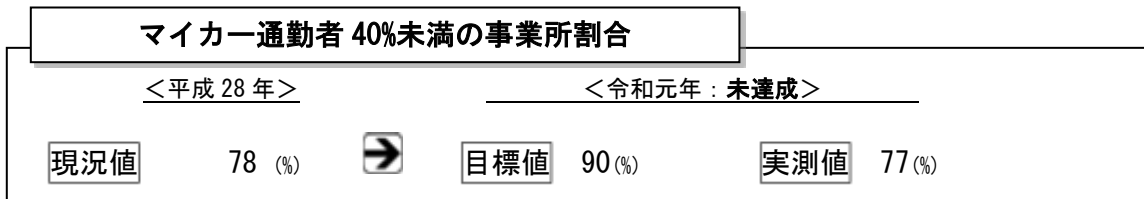


図 2-4 マイカー通勤者40%未満の事業所割合

2.2 交通状況の変化

2.2.1 交通量

○ 奈良中心市街地の休日の交通量は減少傾向

各年の交通量調査の結果、奈良中心市街地内のほとんどの交差点で、近年は交通量が減少傾向にあります。特に、大宮通りの大阪方面からの交通量（1・2 交差点東行き流入交通量）は平成 26 年以降減少傾向にあります。

単位：(千台/12h)

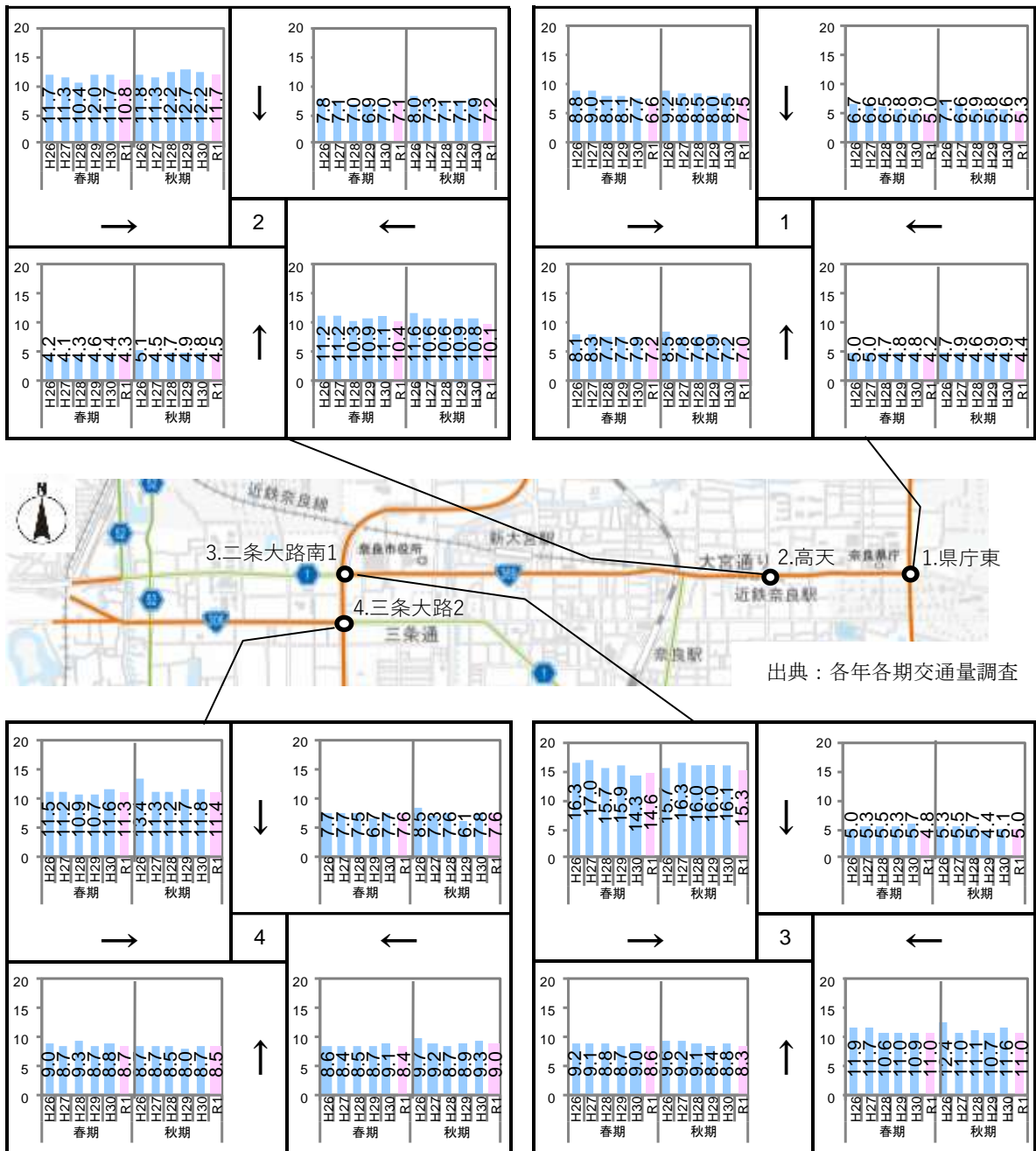


図 2-5 各年交通量調査結果 (12h 計)

春期：GW の 1 日、秋期：正倉院展の 1 日

2.2.2 渋滞長

- 県庁東交差点では東行きの渋滞が発生
- 南行渋滞が慢性的に発生

県庁東交差点では、平成 29 年以降東行渋滞が悪化傾向にあります。県庁東交差点と高天交差点のどちらも、南行渋滞が慢性的に発生しており、令和元年春期で約 1.5km、秋期で約 1.9 km となりました。

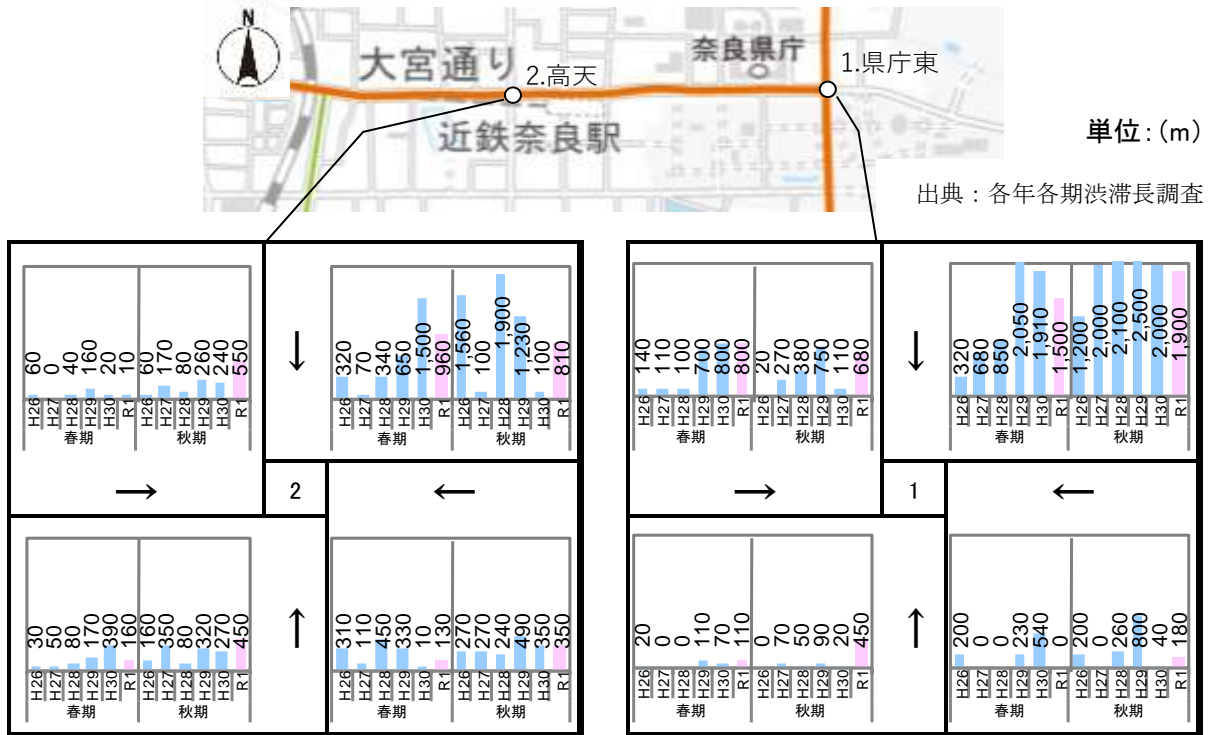


図 2-6 各年渋滞長調査結果 (12h 最大)

春期：GW の 1 日、秋期：正倉院展の 1 日

2.2.3 旅行速度

(1) 奈良中心市街地における平均旅行速度

○ 奈良中心市街地には、平均旅行速度が 20km/h を下回る路線が存在

奈良中心市街地は、平日および休日ともに旅行速度が低く、市内の主要路線では、旅行速度が 20km/h 未満となる路線が多い状況です。

平日と休日を比較すると、大宮通りでは休日の旅行速度が低くなっており、観光目的の自動車交通による影響と考えられます。

表 2.1 奈良中心市街地における平休別の平均旅行速度

路線名	方向	(km/h)					
		平日		休日		平日・休日の速度差	
		春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期
国道24号	北行き	29.0	28.4	27.1	26.8	1.9	1.6
	南行き	26.9	25.2	28.0	27.4	-1.1	-2.2
国道169号	北行き	19.3	16.9	19.3	17.2	0.0	-0.3
	南行き	16.1	14.3	19.8	17.8	-3.7	-3.5
国道369号	北行き	21.3	20.0	21.6	20.3	-0.3	-0.4
	南行き	12.8	11.3	11.5	10.6	1.3	0.7
大宮通り	東行き	19.3	18.7	17.5	18.5	1.8	0.2
	西行き	19.3	18.1	17.6	15.1	1.7	3.0
三条通	東行き	22.3	21.7	22.5	22.1	-0.3	-0.5
	西行き	16.6	16.2	17.2	15.0	-0.6	1.2
木津横田線	北行き	19.1	19.7	20.0	20.4	-0.9	-0.7
	南行き	16.3	16.7	18.7	17.8	-2.4	-1.0
奈良大和郡山斑鳩線	北行き	19.2	18.2	19.6	19.5	-0.4	-1.3
	南行き	20.2	19.6	20.0	21.1	0.2	-1.5

20km/h以下

※12時間の平均旅行速度は、7時～19時の平均値

※平日・休日の速度差は（平日速度－休日速度）の値

出典：2019年4月・5月、10月・11月（休日）の民間プローブデータ

（ホンダイインターナビ統計データ）

(2) 大宮通りの平均旅行速度

- 大宮通りの東行きは県庁東交差点より東側の道路で速度低下
- 西行きは二条大路南1交差点・高天交差点を起点に速度低下

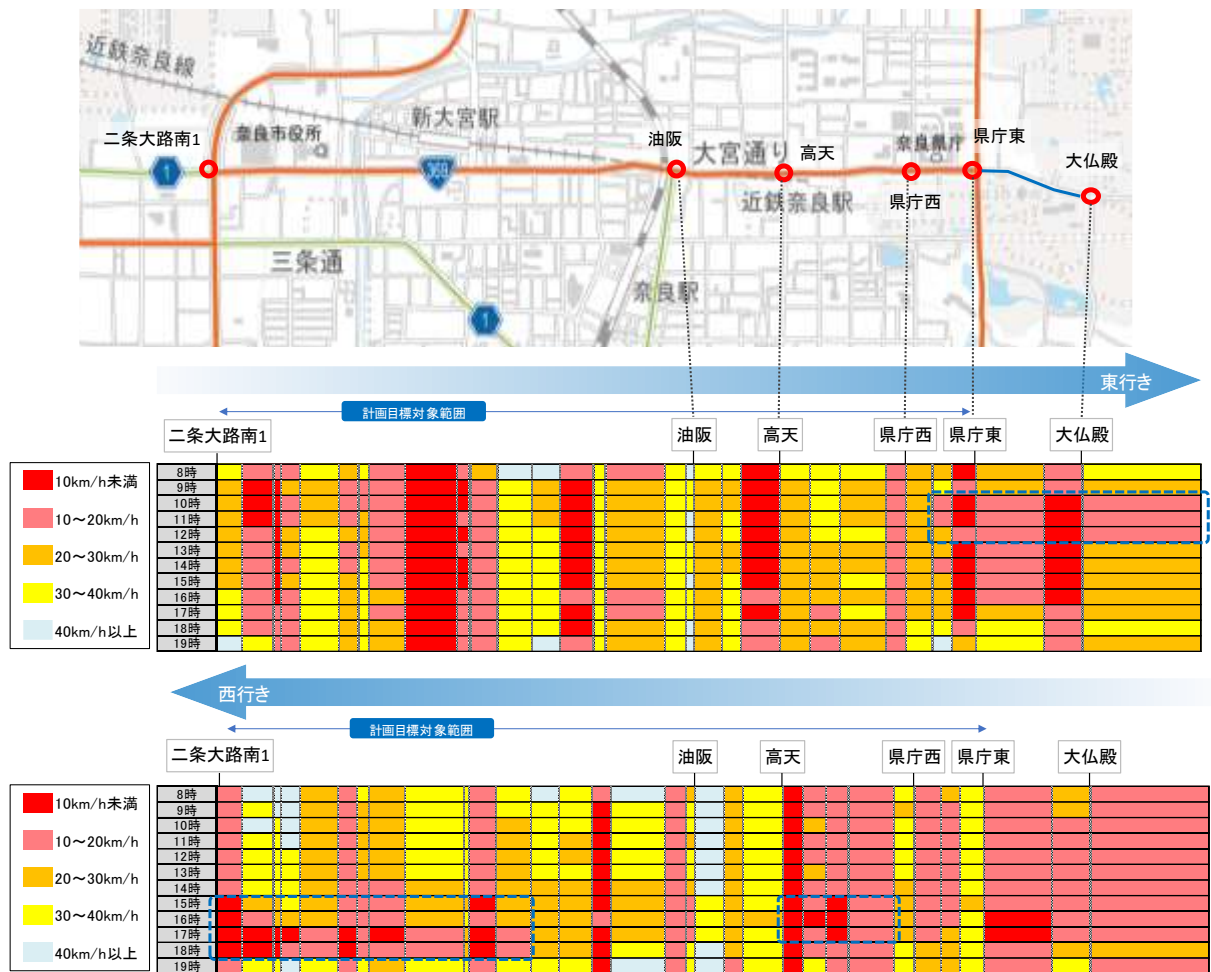
大宮通りの時間別旅行速度をみると、東行きは県庁東交差点より東側で、春期・秋期ともに10～12時の間に速度が低下しています。同時間帯に県庁東から高天交差点区間の速度も低下しているため、大宮通りの東行きの平均旅行速度が20km/hを下回っていると考えられます。

一方、西行きの旅行速度をみると、春期・秋期ともに15～17時の時間に二条大路南1交差点や高天交差点で10km/hを下回る状況にあります。これらの交差点では、主に帰宅交通による車列が発生し旅行速度が低下していると考えられます。



出典：2019年4・5月（休日）の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

図 2-7 大宮通りの時間帯別旅行速度（春期）



出典：2019年10・11月（休日）の民間プローブデータ（ホンダイインターナビ統計データ）

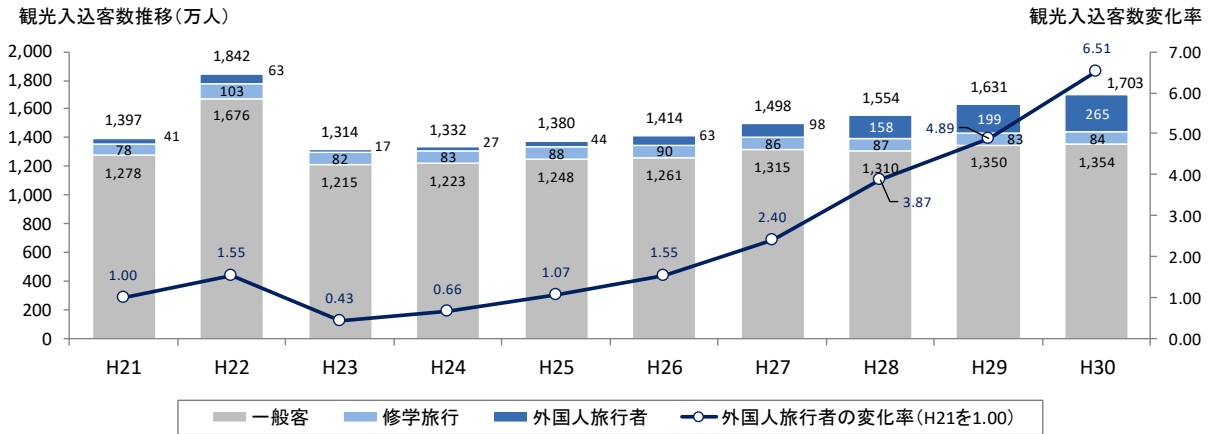
図 2-8 大宮通りの時間帯別旅行速度（秋期）

2.3 観光形態の変化

2.3.1 インバウンドをはじめとする観光客の増加

○ 近年、奈良中心市街地を訪問する観光客が増加

奈良市への観光入込客数は、平成 23 年の東日本大震災以降、順調に回復しており、平成 24 年以降増加傾向にあります。特に、外国人旅行者は、平成 21 年比で平成 30 年は 6.51 倍に増加しています。



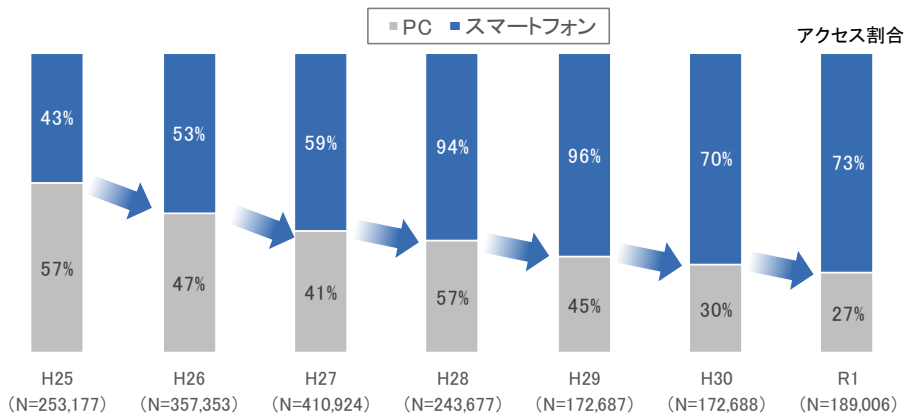
出典：各年奈良市観光入込客数調査報告

図 2-9 奈良市の観光入込客数の推移

2.3.2 情報取得環境の変化

○ スマートフォンを利用して観光交通情報を収集する人が増加

ホームページ（奈良公園・平城宮跡アクセスナビ）の閲覧状況は、平成 25 年時点で、スマートフォンよりも PC から閲覧している人が多い状況でしたが、平成 26 年以降は、スマートフォンから閲覧している人が多くなっており、令和元年で 73%に増加しています。



出典：奈良公園・平城宮跡アクセスナビ アクセス解析

図 2-10 ホームページ閲覧の情報媒体比較

2.4 自動車通勤に関する取組

2.4.1 通勤者数規模別のマイカー通勤状況

○ 通勤者数 10 人以上 50 人未満の事業所で、マイカー通勤者数 40%未満の事業所割合が減少

通勤者数の規模別にマイカー通勤者数 40%未満の事業所割合をみると、通勤者数 10 人以上 50 人未満の事業所で減少しています。

表 2.2 通勤者数規模別のマイカー通勤者 40%未満の事業所割合

通勤者数	H28	H29	H30	R1
1～9人	6 / 7	4 / 5	5 / 7	8 / 10
	86%	80% ↓	71% ↓	80% ↑
10～29人	19 / 24	16 / 21	21 / 30	14 / 22
	79%	76% ↓	70% ↓	64% ↓
30～49人	2 / 5	7 / 10	8 / 9	6 / 7
	40%	70% ↑	89% ↑	86% ↓
50～99人	3 / 4	9 / 10	8 / 10	8 / 9
	75%	90% ↑	80% ↓	89% ↑
100～199人	2 / 2	3 / 4	1 / 2	2 / 2
	100%	75% ↓	50% ↓	100% ↑
200人以上	2 / 2	3 / 3	1 / 1	4 / 4
	100%	100% →	100% →	100% →
不明	2 / 2	1 / 3	0 / 0	2 / 3

凡例	A / B	A :マイカー通勤者40%未満の事業所 B :当該項目の全事業所数
	↑	前年と比べ増加
	↓	前年と比べ減少

出典：各年奈良市「マイカー通勤の実態に関するアンケート調査」

2.4.2 業種別のマイカー通勤状況

○ 製造業でマイカー通勤者数 40%未満の事業所割合が減少

業種別にマイカー通勤者数 40%未満の事業所割合をみると、製造業で減少しています。

表 2.3 業種別のマイカー通勤者 40%未満の事業所割合

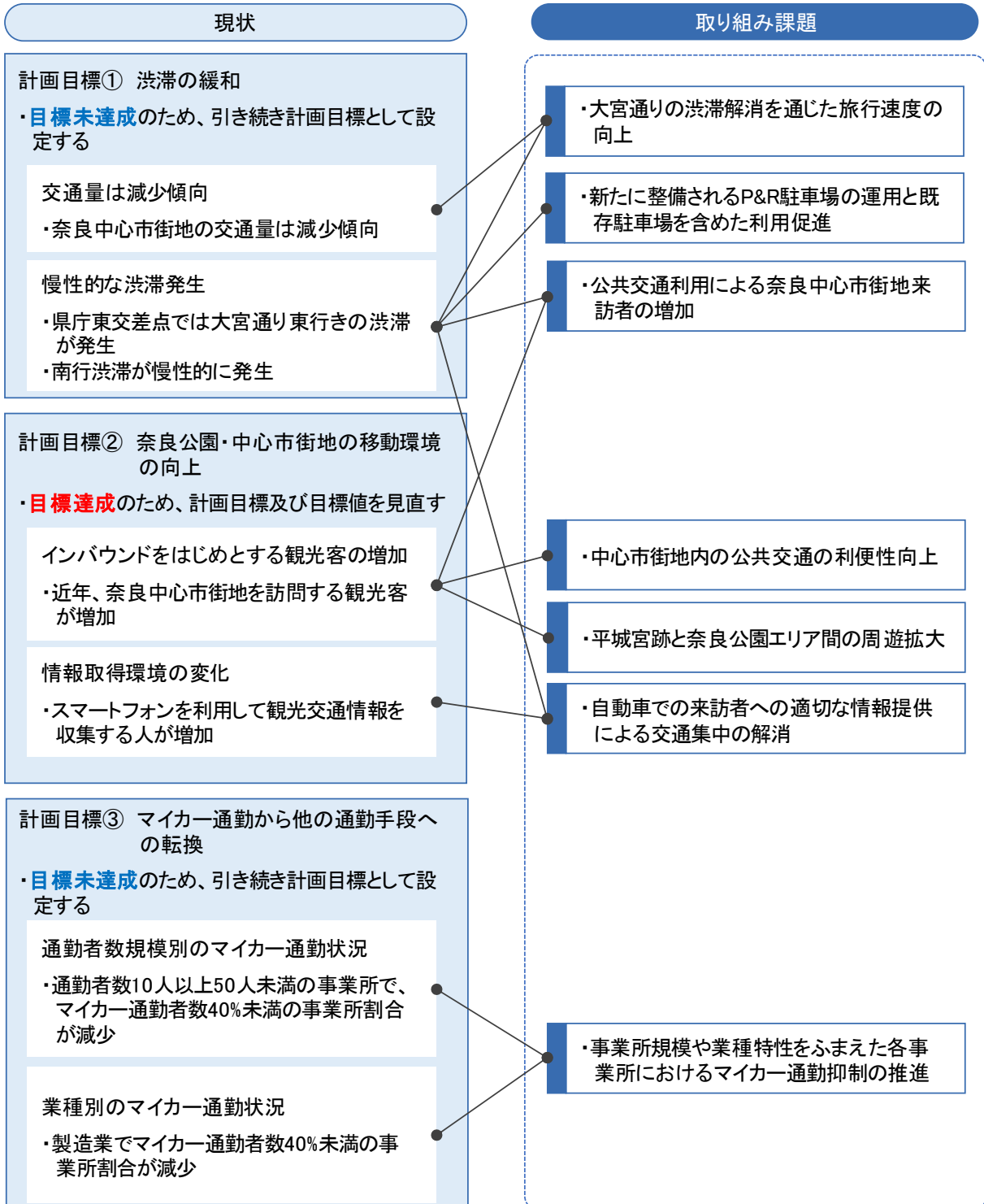
業種	H28	H29	H30	R1	業種	H28	H29	H30	R1
製造業	1 4	4 5	3 3	3 4	卸売・小売業	0 0	3 3	5 7	3 3
	25%	80%↑	100%↑	75%↓		-	100%	71%↓	100%↑
サービス業	10 13	11 16	16 20	16 20	金融・保険業	9 9	9 9	4 6	5 6
	77%	69%↓	80%↑	80%→		100%	100%→	67%↓	83%↑
行政機関	6 6	6 6	2 2	6 6	建設業	1 4	2 6	0 4	2 4
	100%	100%→	100%→	100%→		25%	33%↑	0%↓	50%↑
学校	1 1	1 1	1 1	1 1	広告業	1 1	0 0	1 1	2 3
	100%	100%→	100%→	100%→		100%	-	100%	67%
寺社	0 0	0 0	0 0	0 0	情報通信業	0 0	0 0	1 2	1 1
	-	-	-	-		-	-	50%	100%
医療・福祉	0 0	0 0	1 1	0 0	不動産業	0 0	1 2	0 0	1 1
	-	-	100%	-		-	50%	-	-
飲食店、宿泊業	0 0	0 0	1 1	0 0	その他	5 6	3 4	6 8	3 6
	-	-	100%	-		83%	75%↓	75%→	50%↓
運輸業	2 2	2 2	2 2	1 1	不明	0 0	1 2	1 1	0 1
	100%	100%→	100%→	100%→		0	2	1	1

凡例	A / B	A :マイカー通勤者40%未満の事業所 B :当該項目の全事業所数
	↑	前年と比べ増加
	↓	前年と比べ減少

出典：各年奈良市「マイカー通勤の実態に関するアンケート調査」

2.5 奈良中心市街地の現状と課題

- 施策の継続と見直しにより、計画目標とする渋滞の緩和及びマイカー通勤から他の通勤手段への転換の達成に向けた取組推進が必要
- 奈良公園・中心市街地の移動環境の向上は目標達成のため、課題解決に向けて計画目標及び目標値を見直す



3. 奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた

3.1 基本理念

奈良中心市街地で、観光客・市民双方にとって移動のしやすい空間を創出するためには、自動車利用から公共交通利用への転換を促進することが重要であり、そのためには公共交通の利用環境向上に向けて取り組んでいくことが不可欠です。

行政・交通事業者の積極的な取組はもとより、市民・観光客などの関係者相互の協力により、公共交通で快適に移動できる地域を創出することを念頭に置き、次の理念を掲げるものとします。

地域に親しまれ、観光客に好まれる、 公共交通網の構築による地域活性化の実現

理念①：地域の快適性向上と活性化

理念②：観光客の満足度向上

理念③：世界遺産など、奈良の文化財や自然環境の保護

3.2 計画目標

本計画では、前回計画の基本理念を引き継ぎ、課題を解決するための目標として、奈良中心市街地において、過度に自動車に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通体系の確立を目指します。

本計画の計画目標として、以下を設定します。

種類	計画目標	具体目標
観光交通	(1) マルチモーダルな移動環境の構築	公共交通利用の観光入込客数の増加 【参考値】公共交通とP&Rの分担率
	(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	奈良中心市街地における旅行速度の向上
日常交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	マイカー通勤者 40%未満の事業所割合の増加

(1) マルチモーダルな移動環境の構築：公共交通利用の観光入込客数の増加

奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通での周遊観光を促進させることによって、奈良市の公共交通利用による観光入込客数を増加させることを目標とします。

公共交通利用の観光入込客数

<令和3年>

現況値 1,547(万人/年) → 目標値 1,712(万人/年)以上

- ※奈良市内への公共交通による観光入込客数
- ※現況値は平成30年の値
- ※平成24年以降の公共交通利用による観光入込客数をもとに目標を設定
(平成22年～23年の遷都1300年祭等の影響を考慮し、平成24年以降とする)
- ※入込客数は翌年公表のため、目標年度は令和3年とする

出典：奈良市観光入込客数調査報告

(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和：

奈良中心市街地における旅行速度の向上

奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現するため、公共交通へのモーダルシフトを促進し、主要道路における旅行速度を向上させることを目標とします。

奈良中心市街地における旅行速度 (km/h)

<令和4年>

現況値 15.1(km/h) → 目標値 20(km/h)以上

- ※7時～19時の12時間の平均旅行速度(km/h)
- ※奈良公園と平城宮跡など、主要な観光施設へのアクセス道として利用する主要道路である「大宮通り(国道24号東側)」を対象
- ※現況値はR1の大宮通りの旅行速度のうち、最低値を掲載
休日春期(R1)：西行き17.6(km/h)、東行き17.5(km/h)
秋期(R1)：西行き15.1(km/h)、東行き18.5(km/h)
- ※目標値は、公益財団法人 道路交通情報センター(JARTIC)の渋滞情報、「一般道路20km/h未満は混雑」を参照して設定

(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換：

マイカー通勤者40%未満の事業所割合の増加

奈良市内の事業所において、従業員などへの公共交通を中心とした他の交通手段に対する意識を向上させることによって、日常の交通手段について、公共交通等通勤者が60%を超える事業所を増加させることを目標とします。

マイカー通勤者40%未満の事業所割合

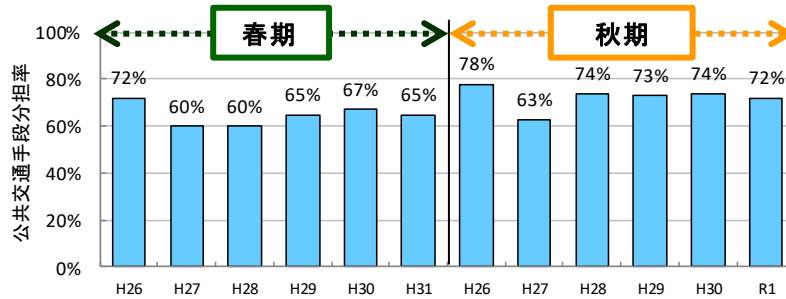
<令和4年>

現況値 77(%) → 目標値 90(%)以上

- ※令和元年「奈良市内事業所のマイカー通勤の実情に関するアンケート調査」におけるマイカー通勤者の割合が40%未満の事業所の割合

【参考】公共交通とP&Rの分担率

各期に実施しているアンケート調査から、奈良中心市街地来訪者の公共交通とP&Rの分担率を把握しています。平成31年春期、令和元年秋期ともに平成30年と同程度です。



出典：各年各期中心市街地来訪者アンケート調査

図 3-1 公共交通とP&Rの分担率

4. 実施施策

4.1 施策体系

計画目標を達成するための施策体系を以下に示します。

なお、施策実施にあたっては、関係機関と十分に協議しながら進めていきます。

種類	計画目標	実施施策	モニタリング指標
観光交通	(1) マルチモーダルな移動環境の構築	1) 観光拠点間の移動環境の充実	①ぐるっとバスの利用者数 ②ぐるっとバスの認知度と満足度 ③P&CR 自転車の利用者数
		2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	①木筒型一日乗車券の販売枚数 ②木筒型一日乗車券の認知度と満足度 ③バスロケーションシステムのアクセス数
	(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	3) 渋滞対策に資する効果的な広報の実施	①チラシおよびポスター配布枚数・箇所数 ②ホームページアクセス数
		4) 自動車の需要調整	①P&R 駐車場の利用台数 ②P&R 駐車場の認知度と次回利用意向
		5) 観光バスの需要調整	①奈良公園バスターミナル平均利用台数
日常交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	6) モビリティ・マネジメントの実施	①マイカー通勤抑制措置の取組割合 ②公共交通通勤への呼びかけ割合 ③交通マネジメントの実施割合

4.2 事業スケジュール

各実施施策は、奈良県、奈良市、交通事業者、および奈良中心市街地公共交通活性化協議会が主体となり事業を推進していきます。また、事業は、本計画の対象期間である令和4年度までを目標に実施します。

表 4.1 計画期間の各年度に実施する事業内容

計画目標	実施施策	実施主体						事業計画期間		
		奈良県	奈良市	JR	近鉄	奈良交通	協議会	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(1) マルチモーダルな移動環境の構築	1) 観光拠点間の移動環境の充実						○	運行・検証・整備 →		
	2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	○	○	○	○	○	○	検証・実施 →		
(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	3) 渋滞対策に資する効果的な広報の実施	○	○				○	検証・実施 →		
	4) 自動車の需要調整	○	○				○	情報提供・検証・実施 →		
	5) 観光バスの需要調整	○						検証・実施 →		
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	6) モビリティ・マネジメントの実施		○				○	調査・検証 →		

4.3 施策概要

実施施策の具体的な事業概要を示します。各事業では、取組状況および効果を定期的に把握するために、モニタリング指標を設定します。

4.3.1 施策1) 観光拠点間の移動環境の充実

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	周遊バスの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良公園や平城宮跡、ならまちなどの観光地、鉄道駅などを結ぶ周遊バス（ぐるっとバスなど）について、運行形態などを見直しながら、継続的に運行します。
	自転車利用環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良中心市街地内の自転車周遊を促すため、自転車利用環境の充実に取組みます。 ・奈良市役所 P&R 駐車場に、レンタサイクルを配備し、駐車場利用者の中で希望者に貸し出すことで、P&CR（パーク&サイクルライド）の利便性向上を図ります。 ・観光関連施設等に臨時駐輪場を設置し、レンタサイクル利用環境を向上します。
モニタリング指標	指標①：ぐるっとバスの利用者数	3,411人/日（平成31年春期） 4,083人/日（令和元年秋期）
	指標②：ぐるっとバスの認知度と満足度	〈認知度〉 44%（平成31年春期） 43%（令和元年秋期）
		〈満足度〉 69%（平成31年春期） 84%（令和元年秋期）
指標③：P&CR 自転車の利用者数	101人/日（平成31年春期） 97人/日（令和元年秋期）	

(2) 施策の実施内容

1) 周遊バスの運行

○奈良公園や平城宮跡、ならまちなどの観光地、鉄道駅などを結ぶ周遊バス（ぐるっとバスなど）について、運行形態などを見直しながら、継続的に運行します。

鉄道駅と奈良公園から平城宮跡間のアクセス性を向上させ、周辺に位置する観光施設の周遊を促すことを目的に、奈良中心市街地内においてぐるっとバスを運行しています。

これまでのぐるっとバスの利用状況を踏まえ、令和元年時点の運行ルートは、「大宮通りルート」「奈良公園ルート」、「若草山麓ルート」の3ルートです。



図 4-1 ぐるっとバスルート

平成 26 年 6 月より、ぐるっとバスをオリジナルラッピングし運行しています。奈良公園ルートは、イメージカラーである赤色、大宮通りルートは青色、若草山麓ルートは橙色のバスで運行しています。バス車体を各ルートのイメージカラーでラッピングすることで、認知度の向上にも寄与しています。

また、バス停標柱デザインを改善し、バス停のナンバリング、バス停標柱におけるバス停名の多言語表示、情報の充実（路線図の地図上への表記、バス停周辺マップ、バス運行ダイヤ、運行日をわかりやすく表記）を図っています。



図 4-2 奈良公園ルート
のラッピングバス



図 4-3 大宮通りルート
のラッピングバス



図 4-4 若草山麓ルート
のラッピングバス



図 4-5 バス停標柱デザイン

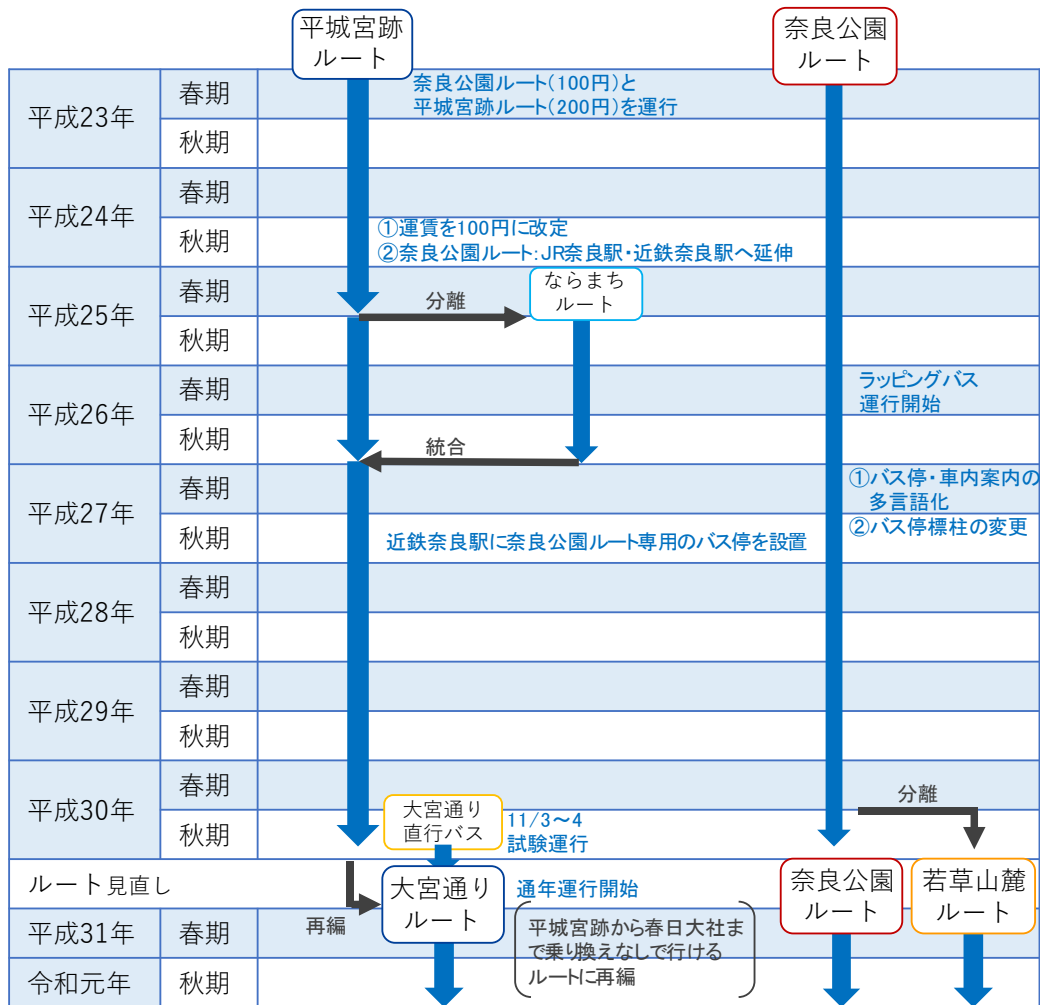


図 4-6 ぐるっとバスルートの変遷

2) 自転車利用環境の充実

- 奈良市役所 P&R 駐車場に、レンタサイクルを配備し、駐車場利用者の中で希望者に貸し出すことで、P&CR（パーク&サイクルライド）の利便性向上を図ります。
- 観光関連施設等に臨時駐輪場を設置し、レンタサイクル利用環境を向上します。

奈良市役所 P&R 駐車場に、放置自転車をリサイクルしたレンタサイクルを配備し、駐車場利用者の中で希望者に貸し出しています。なら工芸館・春日大社には、レンタサイクルの臨時駐輪場を設置しています。



図 4-7 レンタサイクル貸出風景

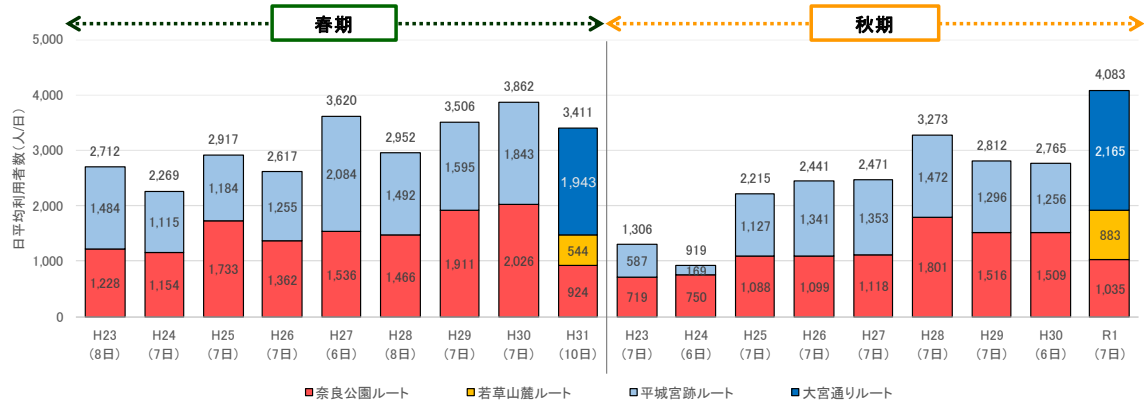
(3) モニタリング指標の状況

① ぐるっとバスの利用者数

平成31年春期のぐるっとバス日平均利用者数は平成30年春期と比べて減少していますが、令和元年秋期は平成30年秋期と比べて増加しています。

大宮通りルートは平城宮跡ルートと比べて日平均利用者数が多い状況です。

月別にみると、令和元年は奈良公園ルート・若草山麓ルートは5月、8～11月、大宮通りルートは5～12月の日平均利用者数が平成30年と比べ増加しています。



※上記の利用者数は、春期はGW、秋期は正倉院展の開催期間を対象に集計（1日あたりの平均利用者）

※平成25年、平成26年はならまちルートの利用者数を含む

※平成31年春期よりルートを変更

図 4-8 ぐるっとバス利用者数の推移

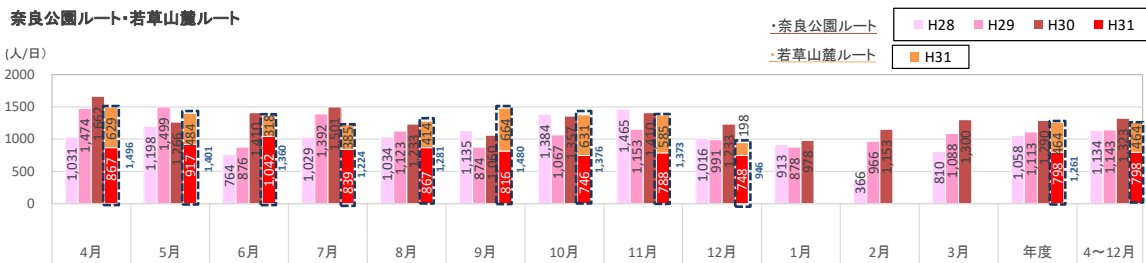


図 4-9 ぐるっとバスの平均利用者数（奈良公園ルート・若草山麓ルート）

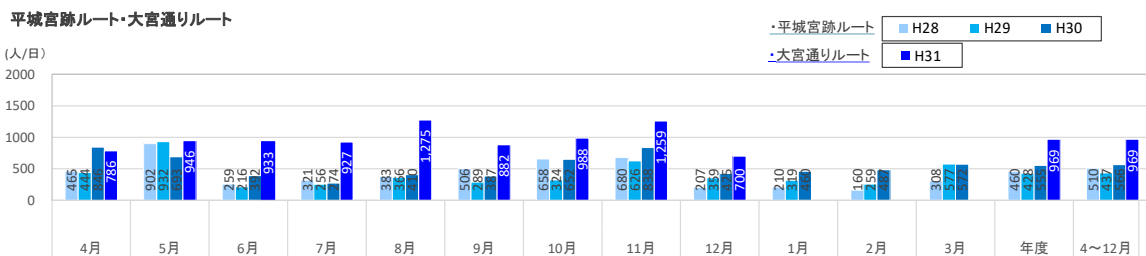
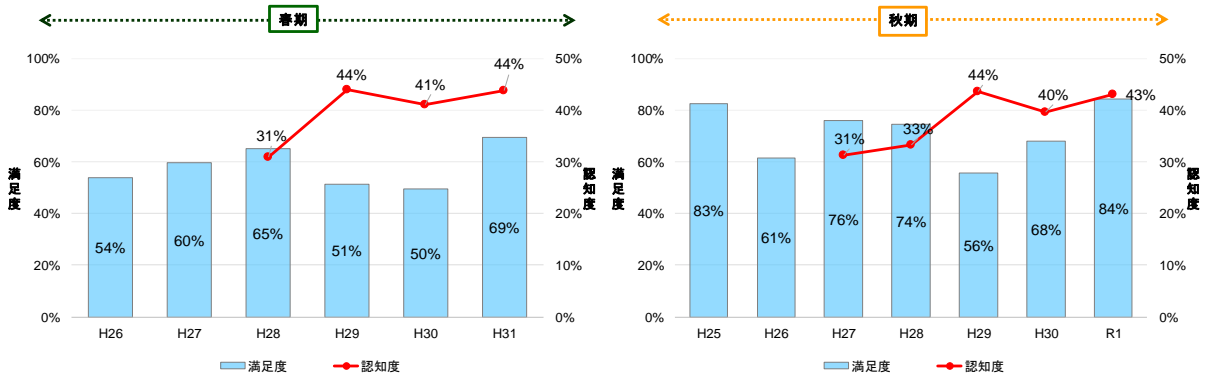


図 4-10 ぐるっとバスの平均利用者数（平城宮跡ルート・大宮通りルート）

② ぐるっとバスの認知度と満足度

平成 31 年春期のぐるっとバスの認知度は 44%、満足度は 69%程度です。

令和元年秋期のぐるっとバスの認知度は 43%、満足度は 84%程度です。



※満足度は「満足・やや満足」と回答した割合の合計値

出典：各期来訪者アンケート調査、各期ぐるっとバスヒアリング調査

図 4-11 ぐるっとバスの認知度と満足度

③ P&CR 自転車の利用者数

平成 31 年春期、令和元年秋期の P&CR 自転車の日平均利用者数は、それぞれ平成 30 年と比べ増加しています。

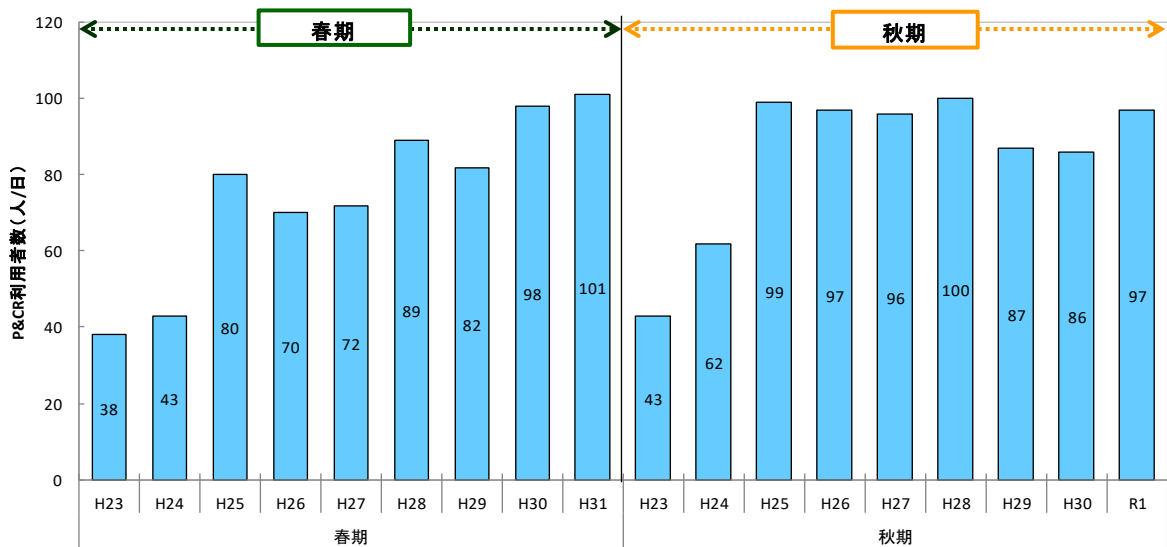


図 4-12 レンタサイクル貸出数

4.3.2 施策2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上	・鉄道駅からバスへの快適でかつ円滑な乗り継ぎが可能となるように、鉄道駅やホームページ（各種乗換案内サービス等）にてバス停の位置やバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。
	木簡型一日乗車券の企画・販売	・奈良中心市街地内における公共交通による周遊観光を促進するために、継続的に木簡型一日乗車券を製作・販売します。
	奈良県コンベンションセンター・大和西大寺駅前広場等の交通結節点化	・鉄道や空港リムジンバスなどと周遊バスの乗り継ぎ利便性を向上します。
	バスロケーションシステムの運用	・ぐるっとバスの現在地が確認できるバスロケーションシステムを運用します。
モニタリング指標	指標①：木簡型一日乗車券の販売枚数	12,576枚（平成31年春期） 18,387枚（令和元年秋期）
	指標②：木簡型一日乗車券の認知度と満足度	〈認知度〉 16%（平成31年春期） 18%（令和元年秋期）
		〈満足度〉 89%（平成31年春期） 90%（令和元年秋期）
	指標③：バスロケーションシステムのアクセス数	4,697件 （平成31年4月～令和2年2月）

(2) 施策の実施状況

1) 情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上

- 鉄道駅からバスへの快適でかつ円滑な乗り継ぎが可能となるように、鉄道駅やホームページ（各種乗換案内サービス等）にてバス停の位置やバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。

鉄道駅等に設置したデジタルサイネージにおいて、時刻表や路線バスルートのご案内、奈良公園周辺や県内の観光施設などの情報発信を実施しています。近鉄奈良駅ではぐるっとバスの乗場案内を実施しています。また、「Google Maps」、「NAVITIME」、「駅すぱあと for WEB」、「Yahoo! 乗換案内」等の各種乗換案内サービスにてぐるっとバスの経路検索を可能にしました。



図 4-13 サイネージ

2) 木簡型一日乗車券の企画・販売

○ 奈良中心市街地内における公共交通による周遊観光を促進するために、継続的に木簡型一日乗車券を製作・販売します。

木簡型一日乗車券は、「ぐるっとバス」、「奈良交通バスフリー区間」などが、一日乗り放題となる乗車券で、公共交通による周遊を促進させ、奈良中心市街地での来訪箇所数、滞在時間、消費額の増加を目的に継続的に企画・販売しています。乗車券は、奈良中心市街地の P&R 駐車場や鉄道駅などで購入することができ、協力施設で入場割引やノベルティプレゼントなどの特典があります。



図 4-14 木簡型一日乗車券

3) 奈良県コンベンションセンター・大和西大寺駅 駅前広場等の交通結節点化

○ 鉄道や空港リムジンバスなどと周遊バスの乗り継ぎ利便性を向上します。

鉄道駅などからスムーズに周遊バスに乗り継ぎができるように案内サインを充実します。

4) バスロケーションシステムの運用

○ ぐるっとバスの現在地が確認できるバスロケーションシステムを運用します。

バスロケーションシステムを導入・運用することで、主要なバス停や、インターネット上でぐるっとバスの現在地がリアルタイムで確認できます。

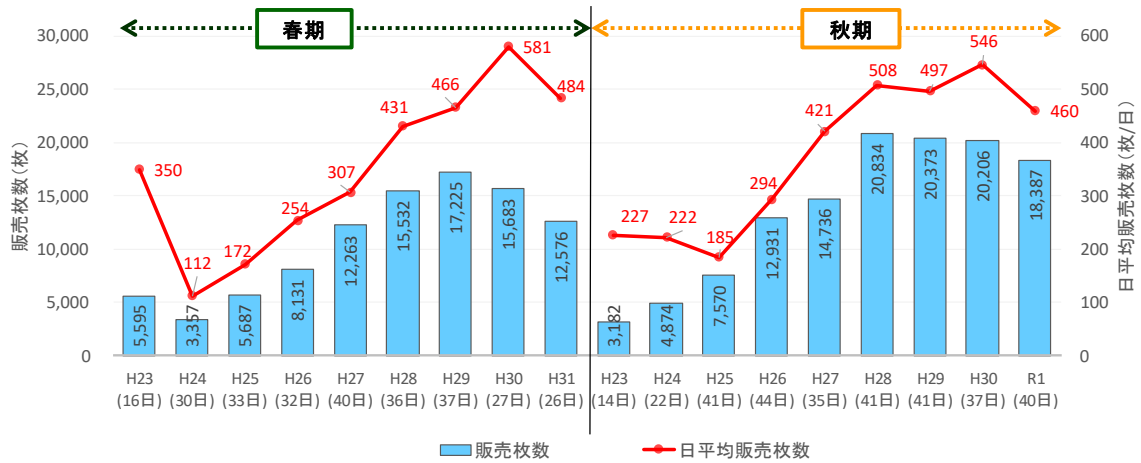


図 4-15 バスロケーションシステム（左：サイネージ版、右：WEB版）

(3) モニタリング指標の状況

① 木簡型一日乗車券の販売枚数

平成 31 年春期・令和元年秋期の木簡型一日乗車券の販売枚数は、それぞれ平成 30 年より減少しています。

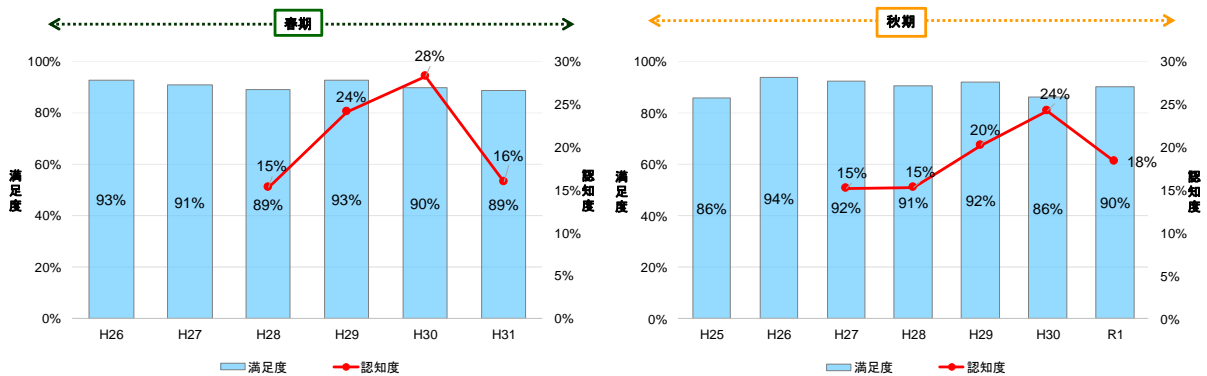


※各年の数値は、木簡型一日乗車券販売期間内の大人（木簡と紙式）と小児の販売枚数の合計値

図 4-16 木簡型一日乗車券の販売枚数

② 木簡型一日乗車券の認知度と満足度

平成 31 年春期の木簡型一日乗車券の認知度は 16%、満足度は 89%程度です。
令和元年秋期の木簡型一日乗車券の認知度は 18%、満足度は 90%程度です。



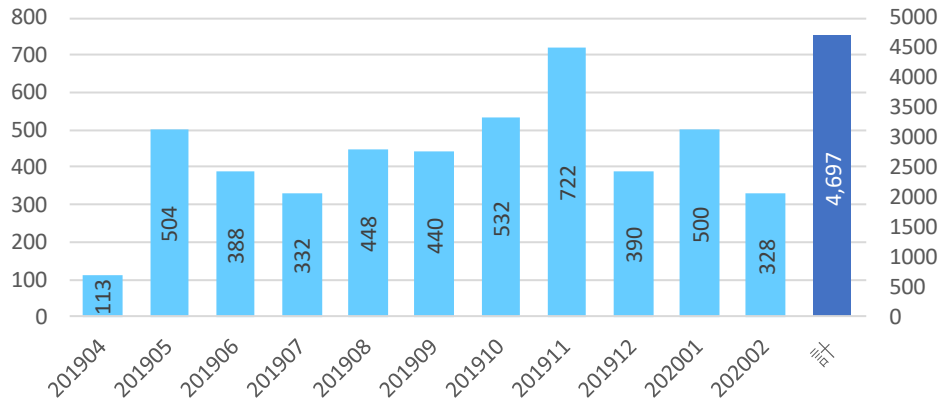
※満足度は「満足・やや満足」と回答した割合の合計値

出典：各期来訪者アンケート調査、各期木簡型一日乗車券アンケート調査

図 4-17 木簡型一日乗車券の認知度と満足度

③ バスロケーションシステムのアクセス数

令和元年4月～令和2年2月のバスロケーションシステムのアクセス数は4,697件です。



※ぐるっとバス NAVI への遷移数を集計（平成31年4月～令和2年2月）

図 4-18 バスロケーションシステムのアクセス数（他のHPからのアクセス数）

4.3.3 施策3) 渋滞対策に資する効果的な広報の実施

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	鉄道駅・高速 SA/PA などにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示等	・各季で公共交通・P&Rの利用促進チラシ・ポスターを作成し、鉄道駅や高速 SA/PA において、チラシ・ポスター等による広報を実施します。
	観光パンフレットを用いたマイカー利用削減のための広報実施	・市、県が発行する観光パンフレットに道路混雑情報や公共交通の利用案内を掲載することで公共交通の利用促進を図ります。
	ホームページの充実	・奈良中心市街地における観光目的利用者を対象に、奈良中心市街地へのアクセス方法や市内の便利な移動情報等を紹介するためのポータルサイト「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」の情報充実を図ります。 ・観光案内に加え、ぐるっとバス、P&R 駐車場などを分かりやすく示すことで、公共交通の利用促進を図ります。 ・「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」のモバイルサイトを作成し、サイトの利便性を向上します。
	SNS での広報実施	・奈良中心市街地の渋滞状況や交通対策の最新情報の発信を目的に、Twitter 等の SNS を利用した広報を実施します。
	分かりやすい駐車場案内の整備	・円滑な駐車場利用を促進させるために、駐車場案内システムを整備するとともに、駐車場への案内・誘導を充実します。
モニタリング指標	指標①：チラシおよびポスター配布枚数・箇所数	〈チラシ〉 20 千枚、33 箇所（平成 31 年春期） 25 千枚、33 箇所（令和元年秋期） 〈ポスター〉 100 枚、10 箇所（平成 31 年春期） 100 枚、10 箇所（令和元年秋期）
	指標②：ホームページアクセス数	奈良公園・平城宮跡アクセスナビアクセス数 7,186 回/月 （平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月末日） Twitter からのアクセス数 405 回/月 （平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

(2) 施策の実施状況

1) 鉄道駅・高速 SA/PA などにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示等

○ 各季で公共交通・P&R の利用促進チラシ・ポスターを作成し、鉄道駅や高速 SA/PA において、チラシ・ポスター等による広報を実施します。

公共交通や、P&R の利用促進チラシとポスターを毎年作成しています。公共交通利用促進のチラシは年 4 回（各季）で作成しており、P&R の利用促進チラシとポスターは春期と秋期の年 2 回作成しています。

また、広報媒体の作成時期に合わせて鉄道駅や高速 SA/PA 等各所にチラシの留め置きとポスターの掲示を実施しています。

(令和元年秋期)



図 4-20 ぐるっとバスチラシ



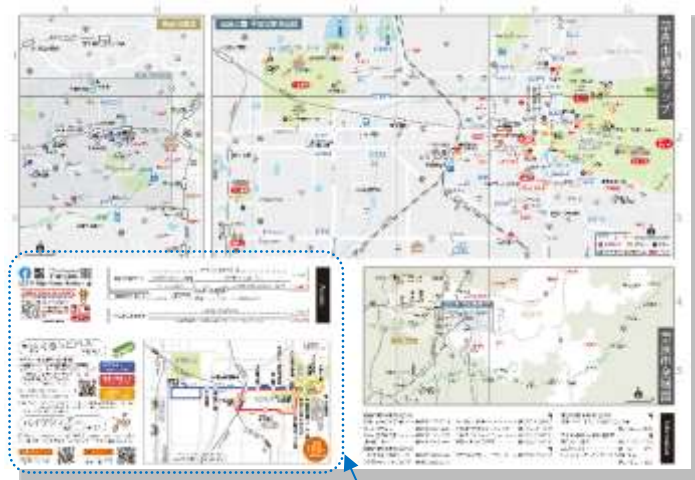
(令和元年秋期)

図 4-19 P&R ポスター

2) 観光パンフレットを用いたマイカー利用削減のための広報実施

○ 市、県が発行する観光パンフレットに道路混雑情報や公共交通の利用案内を掲載することで公共交通の利用促進を図ります。

奈良市観光パンフレットの「ならり」、「天平祭チラシ」において、行楽シーズンの奈良公園周辺道路の混雑状況の記載、および奈良中心市街地への公共交通を利用したアクセス方法を掲載し、公共交通利用促進を図っています。



道路混雑情報と公共交通利用案内の掲載

図 4-22 ならり



図 4-21 天平祭チラシ

3) ホームページの充実

- 奈良中心市街地における観光目的利用者を対象に、奈良中心市街地へのアクセス方法や市内の便利な移動情報等を紹介するためのポータルサイト「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」の情報充実を図ります。
- 観光案内に加え、ぐるっとバス、P&R 駐車場などを分かりやすく示すことで、公共交通の利用促進を図ります。
- 「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」のモバイルサイトを作成し、サイトの利便性を向上します。

ポータルサイト「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」において、奈良観光シーズンにおける自動車の時間帯別渋滞状況や、公共交通を利用した観光ルート等の情報も掲載しています。また、ぐるっとバスの時刻表検索システムを構築しています。

ぐるっとバスや P&R、木簡型一日乗車券に関する情報の季節ごとの更新や、インバウンド観光客に向けた英語版ページも 2017 年春期より公開しています。



図 4-23 奈良公園・平城宮跡アクセスナビトップページ

4) SNS での広報実施

- 奈良中心市街地の渋滞状況や交通対策の最新情報の発信を目的に、Twitter 等の SNS を利用した広報を実施します。

Twitter をはじめ、SNS を通じて奈良観光シーズンの渋滞状況や、ぐるっとバスの運行、P&R の開設、木簡型一日乗車券の販売、各季でのキャンペーンの実施状況、観光交通対策に関する情報等をリアルタイムに発信します。



図 4-24 Twitter ページ

5) 分かりやすい駐車場案内の整備

○円滑な駐車場利用を促進させるために、駐車場案内システムを整備するとともに、駐車場への案内・誘導を充実します。

道路上に看板を設置し、観光用駐車場への案内誘導を実施します。

駐車場の案内システムでは、空き駐車場の明確化を図るとともに、写真を使用するなど、分かりやすい案内をします。



図 4-25 駐車場案内システム（左・中）と案内看板（右）



図 4-26 駐車場案内システム整備位置図

(3) モニタリング指標

① チラシおよびポスター配布枚数・箇所数

平成 31 年春期・令和元年のチラシ配布数は、それぞれ平成 30 年と同等です。

平成 31 年春期・令和元年のポスター配布数も、それぞれ平成 30 年と同等です。

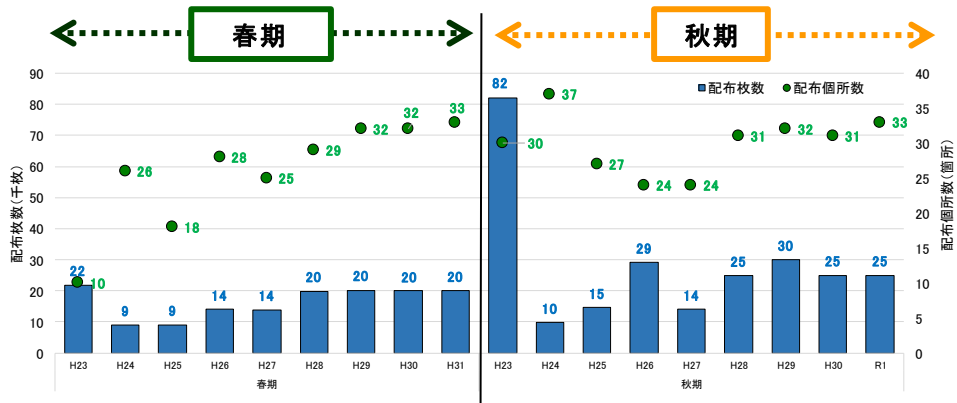


図 4-27 チラシの配布枚数と配布箇所数

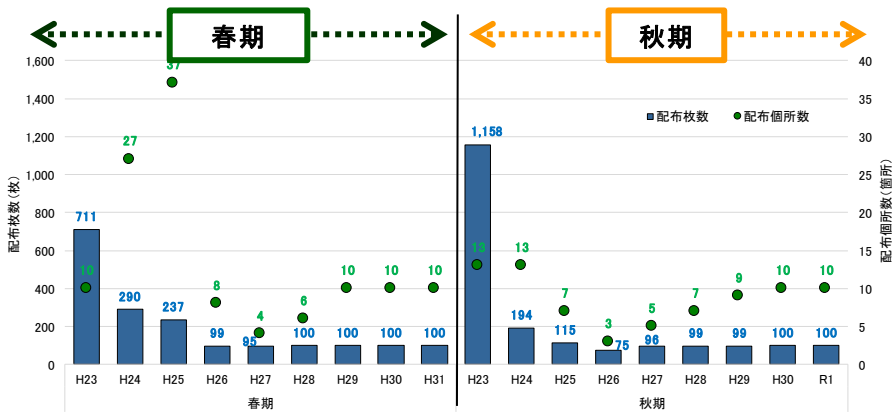
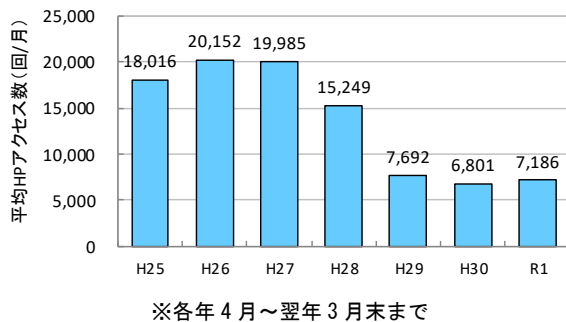


図 4-28 ポスターの配布枚数と配布箇所数

② ホームページアクセス数

ホームページアクセス数は平成 30 年より増加しています。Twitter からのアクセス数は平成 30 年に比べて減少しました。



※R1 は令和 2 年 2 月末日までの集計

図 4-29 ホームページアクセス数

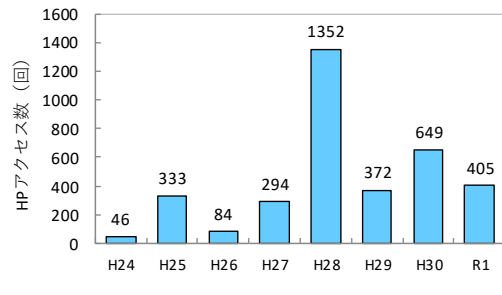


図 4-30 Twitter からのアクセス数

4.3.4 施策4) 自動車の需要調整

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	P&Rの実施・利用促進	・「国道24号高架下駐車場」、「奈良市役所駐車場」、「奈良市営JR奈良駅駐車場」などでP&R（パーク＆ライド）を実施し、ぐるっとバスなどで観光周遊を促進し、奈良中心市街地の交通渋滞を抑制します。
	奈良県コンベンションセンターでのP&R駐車場開設	・令和2年4月より開業する奈良県コンベンションセンターの地下1階駐車場の一部（97台分）をP&R駐車場として活用します。 ・同センターでは、木簡型一日乗車券を販売します。
モニタリング指標	指標①：P&R駐車場の利用台数	345台/日（平成31年春期） 401台/日（令和元年秋期）
	指標②：P&R駐車場の認知度と次回利用意向	認知度 27%（平成31年春期） 44%（令和元年秋期） また利用する割合 99%（平成31年春期） 99%（令和元年秋期）

(2) 施策の実施状況

1) P&Rの実施・利用促進

○「国道24号高架下駐車場」、「奈良市役所駐車場」、「奈良市営JR奈良駅駐車場」などでP&Rを実施し、ぐるっとバスなどで観光周遊を促進し、奈良中心市街地の交通渋滞を抑制します。

P&R（パーク＆ライド）は、ぐるっとバスと連携し実施することによって、観光周遊を促すとともに、奈良中心市街地への自動車の流入を抑制することを目的としています。

P&Rは、利用状況を踏まえながら実施駐車場などを見直しており、これまでの駐車場利用実績を踏まえ、令和元年のP&Rは、無料駐車場として「国道24号高架下駐車場」と「奈良市役所駐車場」の2箇所を実施、有料駐車場として「奈良市営JR奈良駅駐車場」と「ミ・ナーラ第2駐車場」で実施し、計4箇所で開催しています。P&Rは毎年、奈良中心市街地の観光ピーク期となる春期と秋期に実施しています。



図 4-31 P&Rの実施概要

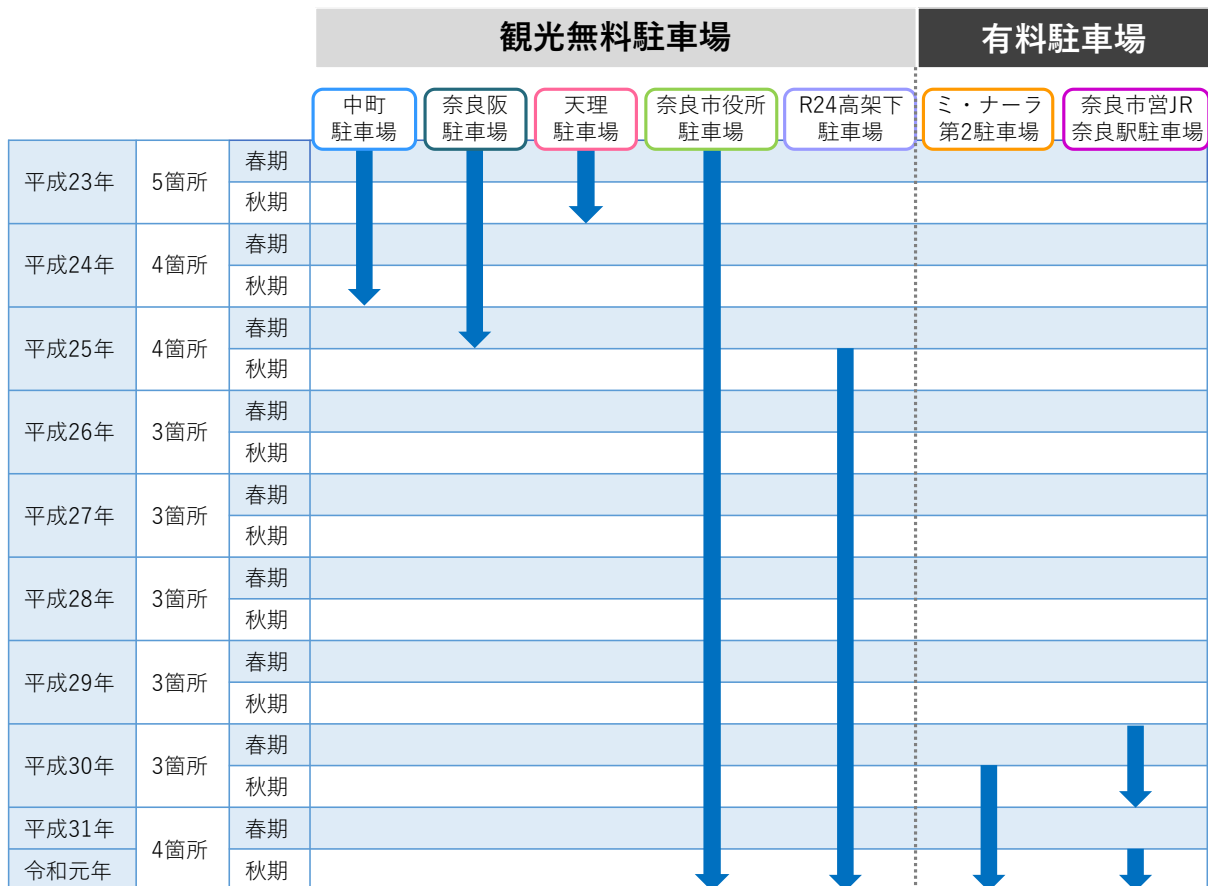


図 4-32 P&R の変遷

2) 奈良県コンベンションセンターでの P&R 駐車場開設

- 令和 2 年 4 月より開業する奈良県コンベンションセンターの地下 1 階駐車場の一部（97 台分）を P&R 駐車場として活用します。
- 同センターでは、木簡型一日乗車券を販売します。

県営プール跡地等において、国際ブランドホテルの建設、NHK奈良放送会館の移転と併せ、令和 2 年春に、コンベンション施設、屋外多目的広場、飲食・物販施設、駐車場及びバスターミナルからなる奈良県コンベンションセンターが開業します。

駐車場及びバスターミナルは、パーク & バスライドによる奈良観光の交通拠点として活用します。

コンベンションセンターは、空港リムジンバス、市内周遊バス（ぐるっとバス）の乗換拠点として、安心・清潔で観光情報発信拠点ともなる乗降・待合空間とすることを想定しています。

また、木簡型一日乗車券を 1,000 円分以上購入した方や本駐車場を利用して空港リムジンバスを利用した方には、1,000 円分の駐車料金を割引とする予定です。



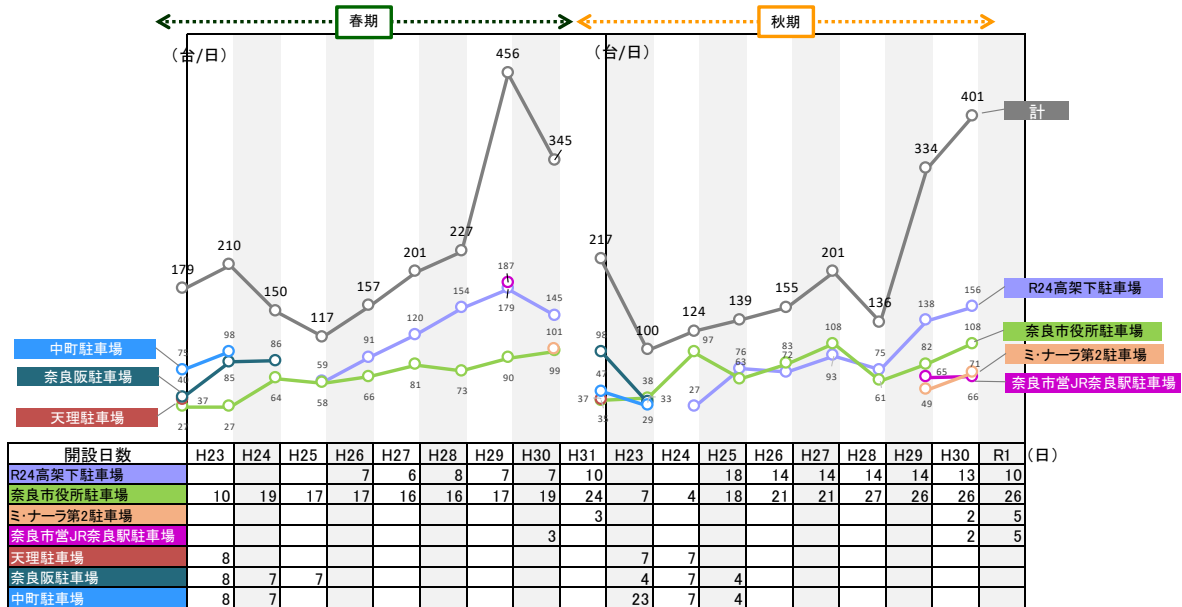
図 4-33 奈良県コンベンションセンターの全体イメージ

(3) モニタリング指標の状況

① P&R 駐車場の利用台数

平成 31 年春期の P&R 駐車場の 1 日あたり平均利用台数の合計台数は平成 30 年春期に比べ減少しています。

令和元年秋期の P&R 駐車場の 1 日あたり平均利用台数の合計台数は平成 30 年秋期に比べ増加しています。



※利用台数は、1日あたり、1駐車場あたりの平均利用台数

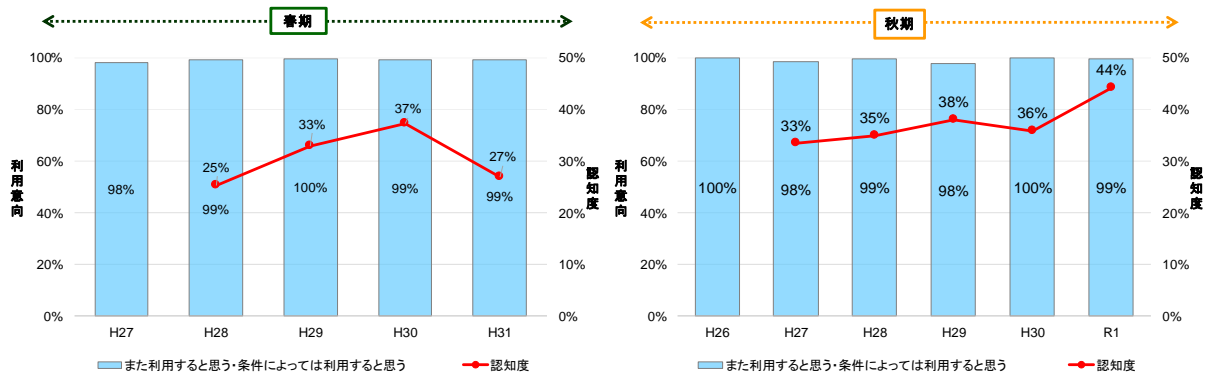
※H29は、台風接近による悪天候の複数日(9/16,17,10/21,22,28,29)含む

図 4-34 P&R 駐車場の平均利用台数

② P&R 駐車場の認知度と次回利用意向

平成 31 年春期の P&R の認知度は 27%、次回の利用意向は 99%程度です。

令和元年秋期の P&R の認知度は 44%、次回の利用意向は 99%程度です。



※次回利用意向は「また利用する・条件によっては利用する」と回答した割合の合計値

出典：各期来訪者アンケート調査、各期 P&R ヒアリング調査

図 4-35 P&R の認知度と次回利用意向

4.3.5 施策5) 観光バスの需要調整

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	・観光ピーク期に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、ウェブ上での予約を基本とする観光バス駐車場予約システムを継続的に実施します。	
モニタリング指標	指標：奈良公園バスターミナル平均利用台数	127台/日 (平成31年4月13日～令和2年1月末日までの平均)

1) 施策の実施状況

○ 観光ピーク期に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、ウェブ上での予約を基本とする観光バス駐車場予約システムを継続的に実施します。

観光ピーク期間に観光バスが来訪する時間帯を分散し、駐車場への入庫待ちによる渋滞を解消するため、平成23年9月から大仏殿前駐車場に予約システムを導入し、平成30年以降は完全予約制で運用しています。

令和元年4月13日に奈良公園バスターミナルの運営を開始し、観光バスの奈良公園中心部への乗入を抑制するだけでなく、奈良公園の魅力を学ぶことができる歴史展示やレクチャーホール、休憩スペース等を提供しています。奈良公園バスターミナルは、観光バスの乗降場とし、完全予約制を導入しています。



図 4-37 奈良公園バスターミナル

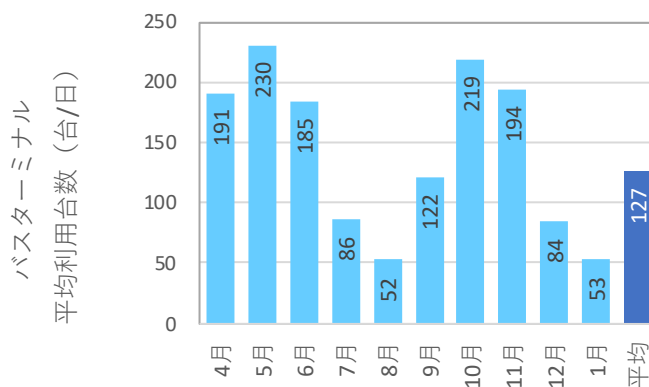


図 4-36 観光バス予約システム

(2) モニタリング指標の状況

① 奈良公園バスターミナル平均利用台数

平成31年4月13日～令和2年1月末日までの日平均利用台数では5月が最も多く、一日あたり230台が利用しています。年間の平均では127台/日が利用しています。



※利用台数は、平成31年4月13日～令和2年1月末日までの月別日平均利用台数

図 4-38 奈良公園バスターミナル利用台数

4.3.6 施策6) モビリティ・マネジメントの実施

(1) 施策の概要

項目	内容	
事業期間	令和2年度～令和4年度	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情の把握と「エコ通勤」の啓発のためにアンケートを実施します。 ・事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシを配布し、通勤における公共交通への意識転換を図ります。 	
モニタリング指標	指標①：マイカー通勤抑制措置の取組割合	80%（令和元年）
	指標②：公共交通通勤への呼びかけ割合	82%（令和元年）
	指標③：交通マネジメントの実施割合	59%（令和元年）

1) 施策の実施状況

○ 毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情の把握と「エコ通勤」の啓発のためにアンケートを実施します。

○ 事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシを配布し、通勤における公共交通への意識転換を図ります。

平成29年1月より毎年、奈良市内の事業所に対して、マイカー通勤の実情把握と「エコ通勤」の啓発のためのアンケートを実施しています。



図 4-39 アンケート調査票

(2) モニタリング指標の状況

① マイカー通勤抑制措置の取組割合

令和元年のマイカー通勤抑制措置の取り組み割合は、平成30年と同等。

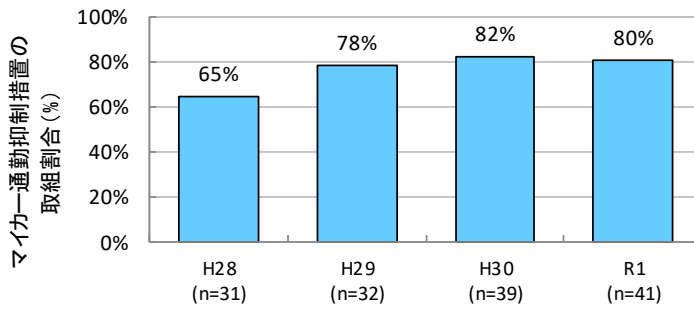


図 4-40 マイカー通勤抑制措置の取組割合

② 公共交通通勤への呼びかけ割合

令和元年の公共交通通勤への呼びかけ割合は、平成30年と比べ増加。

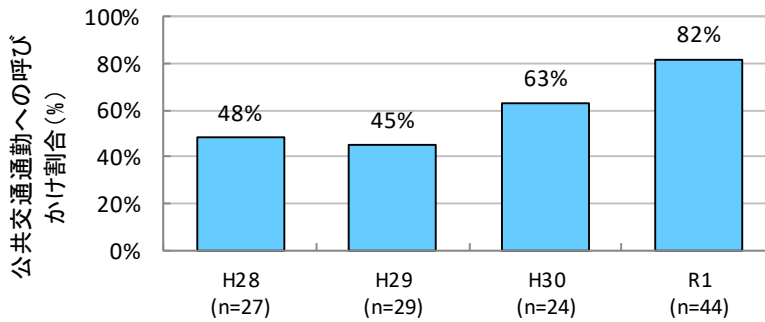


図 4-41 公共交通通勤への呼びかけ割合

③ 交通マネジメントの実施割合

令和元年の交通マネジメントの実施割合は、平成30年と比べ増加。

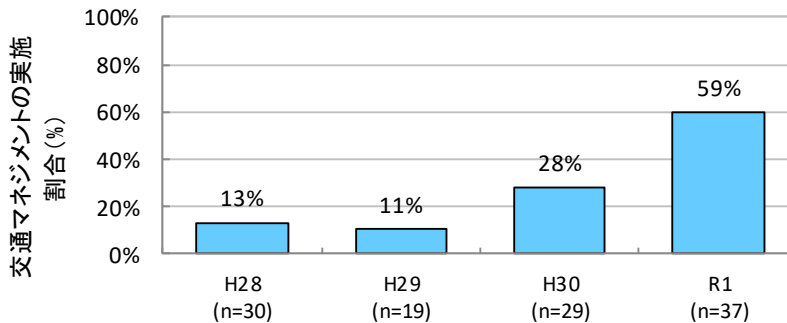


図 4-42 交通マネジメントの実施割合

5. 推進体制

5.1 推進体系

本計画を確実に推進し、実現していくためには、住民や観光客、交通事業者、行政などの関係主体が自らの役割を認識し、分担・協力しながら事業を推進いくことが重要です。

各関係主体は、奈良中心市街地の交通状況および課題、基本理念・目標を相互に理解・共有し、緊密な連携を図りながらより快適な観光および日常生活の実現に向けて、公共交通で快適に移動できる地域の創出を進めていくこととします。

表 5.1 関係主体の役割

主体	役割
住民など	無駄な自動車利用を減らして公共交通機関を積極的に利用する役割を担う。啓発活動などを通して、通勤、通学、私用などの全ての移動において、公共交通機関を使う意識を醸成する。
観光客	広報などを確認して公共交通機関を利用する役割を担う。やむを得ず自動車で来訪する観光客は、P&R を積極的に利用する役割を担う。
交通事業者	企画切符などのサービスや広報活動をさらに充実させ、行政との連携を図りつつ公共交通利用促進を図る役割を担う。また、交通モード間での連絡強化を図り、利便性の高い公共交通を構築する。
行政	市・県・国が協働し、円滑な事業実施に努めるとともに、公共交通利用促進に関して、交通事業者を支援する役割を担う。

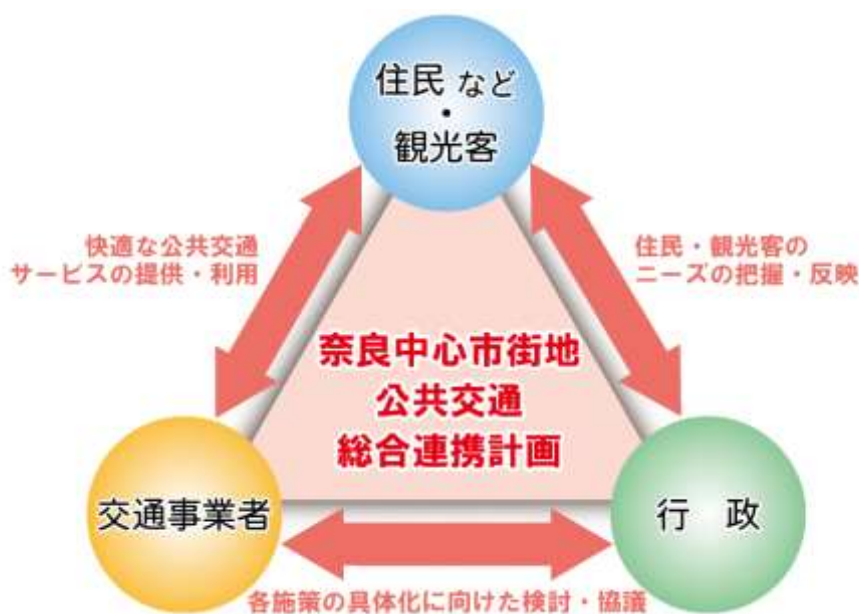


図 5-1 事業の推進体系

5.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施

奈良中心市街地における公共交通を取巻く環境（利用状況、交通事業者の状況、行政の財政状況、社会状況など）は、時間の経過とともに今後も変化することが予想されるため、本計画で定める事業内容においても、その変化に適切に対応すべく、定期的な見直しを行うことによって、持続可能な公共交通の確立を図ることが重要です。

そこで、本計画では、PDCAサイクルによって、「計画の策定(Plan)、事業実施(Do)、評価(Check)、柔軟な見直し(Action)」についてマネジメントを行い、効率的かつ効果的な事業の実施へとスパイラルアップを図ります。今後も定期的に協議会を開催し、PDCAサイクルに従って各モニタリング指標に基づいた評価を行いながら、改善を図りつつ、各事業を推進していきます。



図 5-2 PDCA サイクルによるスパイラルアップのイメージ

資料編

【参考資料 1】検討の経緯

平成 22 年 3 月の奈良中心市街地公共交通活性化協議会の設立後、施策の実施状況や目標値の達成状況について報告し、PDCA により継続的に施策展開を実施しています。

表 検討の経緯

年月日	委員会名	概要
平成 22 年 3 月 16 日	第 1 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設置規約（案）について 協議会財務規程（案）について 協議会事務局規程（案）について 監事の指名について 平成 22 年度事業計画（案）について 平成 22 年度予算（案）について
平成 22 年 6 月 28 日	第 2 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設置規約の改正（案）について 奈良中心市街地公共交通活性化協議会予算変更（案）について 公共交通総合連携計画の策定について
平成 23 年 1 月 17 日	第 3 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 前回のおさらい 公共交通施策の検討（観光交通）について 公共交通施策の検討（日常交通）について
平成 23 年 2 月 28 日	第 4 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 総合連携計画（案）について
平成 23 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成 23 年 8 月 22 日	第 5 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市地域公共交通活性化協議会準備会との合併について 設置規約及び事務局規程の改正等について 平成 22 年度決算及び平成 23 年度予算（案）について 検討の流れについて 観光交通対策の取り組み状況について 平日交通対策について
平成 24 年 1 月 19 日	第 6 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度事業と今後の進め方について その他
平成 24 年 3 月 22 日	第 7 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 奈良公園ぐるっとバス 平成 24 年春の実施内容（案）について 木筒型一日フリー乗車券 平成 24 年春の実施内容（案）について 平成 24 年度予算案について
平成 24 年 8 月	—	奈良市中心市街地公共交通総合連携計画の策定 ※日常交通対策の追加
平成 24 年 8 月 10 日	第 8 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 規約の変更について 平成 23 年度の決算及び監査報告について 平成 24 年度の予算について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画の変更について 平成 24 年春の観光シーズンにおける実施事業と、秋の観光シーズンにおける実施予定事業について 平成 24 年度の日常交通における実施予定事業について その他
平成 25 年 2 月 13 日	第 9 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 奈良公園ぐるっとバスについて 奈良観光周遊バスについて 木筒型一日フリー乗車券について パーク&バスライド事業について 日常交通対策について アンケート調査票（事前・事後）について
平成 25 年 3 月 29 日	第 10 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度予算（案）について 本協議会の規約 変更（案）について
平成 25 年 7 月 5 日	第 11 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度夏以降のぐるっとバス運行について
平成 25 年 9 月 2 日	第 12 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度決算と監査報告について 春の取組結果についてと、秋以降の取組内容（案）について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画について
平成 25 年 12 月 24 日	第 13 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度秋の取組結果（速報）及び、なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画次期計画（案）について
平成 26 年 2 月 26 日	第 14 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 観光交通対策について 平成 25 年度の取組結果及び、平成 26 年度の取組予定（案） 奈良中心市街地公共交通総合連携計画 平成 26 年度からの計画（案）

年月日	委員会名	概要
平成 26 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成 26 年 3 月 26 日	第 15 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 26 年度予算(案)について ・規約の変更(案)について
平成 26 年 8 月 20 日	第 16 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 26 年度秋以降の取組内容について
平成 26 年 12 月 22 日	第 17 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・連携計画の目標達成状況について ・平成 26 年度春季・秋季の取組結果 ・なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行(案) ・平成 27 年度の実施内容(案)(ぐるっとバス、奈良観光周遊バス、木筒型一日乗車券)
平成 27 年 2 月 16 日	第 18 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 27 年度の取組内容について
平成 27 年 3 月 19 日	第 19 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 27 年度予算(案)について
平成 27 年 9 月 1 日	第 20 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 27 年秋期の取組内容について
平成 28 年 1 月 8 日	第 21 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 26 年度決算と監査報告 ・連携計画の目標達成状況(速報) ・平成 27 年度春季・秋期の取組内容と結果(速報) ・平成 28 年度の取組内容(案)
平成 28 年 3 月 25 日	第 22 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 28 年度予算(案)について
平成 28 年 4 月 20 日	第 23 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 28 年度の取組内容について
平成 28 年 8 月 19 日	第 24 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 27 年度決算と監査報告 ・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成 28 年春期の取組内容と結果(速報) ・平成 28 年秋期の取組内容(案) ・連携計画の見直し方針 ・設置規約等の改正
平成 28 年 12 月 19 日	第 25 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成 28 年秋期の取組内容と結果(速報) ・平成 29 年度の取組内容(案) ・次期連携計画(案)
平成 29 年 2 月 13 日	第 26 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 29 年度春以降のぐるっとバス運行について
平成 29 年 3 月 17 日	第 27 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・奈良中心市街地公共交通総合連携計画(H29~31)について ・平成 29 年度予算(案)について
平成 29 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画(前回計画)の策定
平成 29 年 4 月 3 日	第 28 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 29 年度予算(案)補正について
平成 29 年 8 月 25 日	第 29 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 28 年度決算と監査報告 ・平成 29 年春期の取組内容と結果(速報) ・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成 29 年秋期の取組内容(案)
平成 29 年 12 月 18 日	第 30 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 29 年秋期の取組内容と結果(速報) ・連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) ・平成 30 年度の取組内容(案)
平成 30 年 1 月 19 日	第 31 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・ぐるっとバスの取組内容(平城宮跡ルートのバス停名の変更) ・パーク&ライドの取組内容(奈良市役所駐車場の開設日の変更)
平成 30 年 2 月 15 日	第 32 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・ぐるっとバスの取組内容(運行日数の追加) ・パーク&ライドの取組内容(パーク&サイクルライド実施日の追加)
平成 30 年 3 月 23 日	第 33 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	・平成 30 年度予算(案)について
平成 30 年 8 月 10 日	第 34 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 29 年度決算と監査報告 ・平成 30 年春期の取組内容と結果(速報) ・平成 30 年秋期の取組内容(案)

年月日	委員会名	概要
平成 31 年 1 月 18 日	第 35 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 30 年秋期の取組内容と結果 ・平成 31 年度の取組内容（案）
平成 30 年 12 月 11 日	第 36 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・ぐるっとバスの取組内容 （奈良公園ルートの若草 山焼き実施日の運行内容 の変更）
平成 31 年 3 月 25 日	第 37 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・平成 31 年度予算（案）について
令和元年 7 月 30 日	第 38 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 30 年度決算と監査報告 ・平成 31 年（令和元年）春期の取組内容と結果 ・令和元年秋期の取組内容（案） ・連携計画の見直し方針 ・設置規約等の改正
令和元年 9 月 17 日	第 39 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・『平城宮跡・奈良公園秋のお得なぐるっとキャンペーン』の取組内容
令和元年 12 月 20 日	第 40 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和元年秋期の取組内容と結果 ・令和 2 年度以降の取組内容（案） ・次期連携計画（案）
令和 2 年 2 月 12 日	第 41 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・『平城宮跡・奈良公園春のお得なぐるっとキャンペーン』の取組内容 ・『奈良県コンベンションセンターオープン記念キャンペーン』の取組内容
令和 2 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定